
*

*

*

*

*

令和 3 年 度

*

*

*

*

事 業 報 告 書

*

*

*

*

*

*

目 次

社会福祉法人 狛江福社会	1 ページ
特別養護老人ホーム こまえ苑	13 ページ
高齢者デイサービスセンター こまえ苑	..	26 ページ
地域包括支援センター こまえ苑	45 ページ
居宅介護支援事業所 こまえ苑	51 ページ

*

*

*

*

*

社会福祉法人 狛江福社会

*

*

*

*

*

*

*

*



1. 総括

(はじめに)

令和3年度も前年度同様、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を継続しました。苑内での感染症に関する会議では、産業医から毎回、東京都や狛江市のリアルタイムの情報を提供いただき、感染防止に大変役立たせていただきました。その結果、特養入所者の感染は現在も発生しておりません。年末には家族からご要望が多かった対面面会を条件付きで再開しましたが、残念ながらその後の感染者急増で現在は中止しております。

ここ数年重点的な取り組みとして進めている「看取りケア」が定着しつつあります。「残された時間を充実させる」、「最期の日まで寄り添う」心身のケアが多くの家族に深くご理解いただいております。

施設の設備更新では、懸案でありました地下1階受変電設備の屋上移転更新工事を東京都の水害対策強化事業補助金(補助率3/4)を活用し、年度末に無事完了しました。これにより、当施設の水害時の業務継続機能は大幅に改善されました。

各事業の稼働率としましては、特別養護老人ホームおよびショートステイとも前年度より上昇し、特にショートステイは、前年度比10%以上の伸びとなりました。デイサービスにおいても、通所介護、認知症通所介護、総合事業の三事業とも前年度を上回る伸びを示しております。稼働率上昇の主な要因としては、新型コロナウイルス感染症を恐れての利用控えが減少したことが考えられます。

令和3年度は支出の抑制を図るため、新規の感染症対策設備整備推進事業補助金(補助率10/10)を活用し簡易陰圧装置を2台導入、感染防止対策支援事業補助金(補助率10/10)では衛生用品を購入し、サービス提供体制確保事業補助金(補助率10/10)は職員罹患後の対応経費等に活用しました。また、公益財団法人JKAの新型コロナウイルス感染症感染予防・防止のための整備補助事業補助金(補助率10/10)を活用し、サーマルカメラ1台と業務用空間除菌機器4台を設置しています。さらに、東京都福祉保健財団の介護現場改革促進事業補助金(デジタル機器導入促進支援事業)(補助率3/4)の活用により、デイサービスに介護システム入力用タブレットおよびWi-Fi(2階の一部と3階以外)を整備することができました。

「人材の確保、育成」の面では、従来の「介護職員処遇改善加算」「介護職員等特定処遇改善加算」に加え、新たに「介護職員処遇改善支援補助金」による月額報酬増が、少しでも新規の採用に繋がればと期待しています。また、正吉福祉会との間で職員の交換研修を初めて実施したほか、係長級の職員によるこまえ苑中長期計画の後期計画の策定作業を実施しました。

こまえ苑は、高齢者を対象として事業を展開するなか、エッセンシャルサービス(社会に必要不可欠な仕事)を担う法人として、利用者や地域の方々から常に安定的にサービスを提供していくことが求められています。各事業部門は、法人理念と向き合い、介護サービス水準の向上に努める使命があります。

今後も困難な課題に向き合い、いかなる環境の変化においても適応し、安定的に事業継続ができる組織になるべく職員一丸となって研鑽を重ねてまいります。

2. 理事会・評議員会の開催状況

理事会・評議員会の開催年月日、議題等は次のとおりです。

開催年月日		議 題 ・ 報 告 事 項 等
第一回 理事会	令和3年 6月7日 月曜日	<p>(1) 報告事項 報告第1号 苦情解決第三者委員取扱いの苦情について(令和2年度分)</p> <p>(2) 議 案 議案第1号 令和2年度事業報告について 同第2号 令和2年度財務報告について 同第3号 社会福祉法人狛江福社会評議員選任・解任委員選定について 同第4号 社会福祉法人狛江福社会次期評議員候補者推薦について 同第5号 社会福祉法人狛江福社会定時評議員会の招集事項の決定について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>
第一回 評議員会	令和3年 6月28日 月曜日	<p>(1) 報告事項 報告第1号 令和2年度事業報告について</p> <p>(2) 議 案 議案第1号 令和2年度財務報告について 同第2号 理事及び監事の選任について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回評議員会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>
第二回 理事会	令和3年 6月28日 月曜日	<p>(1) 報告事項 なし</p> <p>(2) 議 案 議案第6号 理事長の互選及び業務執行理事選任について 同第7号 社会福祉法人狛江福社会こまえ苑職員の在宅勤務の実</p>

開催年月日		議 題 ・ 報 告 事 項 等
		<p>施に関する要綱制定について</p> <p>同第8号 苦情解決第三者委員の選任の同意について</p> <p>(3) 協議事項</p> <p>① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>
第 三 回 理 事 会	令和3年 9月21日 火曜日 (書面)	<p>(1) 報告事項</p> <p>なし</p> <p>(2) 議 案</p> <p>議案第9号 大規模改修に係る入札等スケジュールについて</p> <p>同第10号 大規模改修に係る入札参加資格条件について</p> <p>同第11号 大規模改修に係る予定価格及び最低価格について</p> <p>(3) 協議事項</p> <p>① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>
第 四 回 理 事 会	令和3年 10月28日 木曜日	<p>(1) 報告事項</p> <p>報告第2号 各事業上半期利用状況について</p> <p>同第3号 水害対策強化事業工事に伴う入札結果について</p> <p>(2) 議 案</p> <p>議案第12号 指定介護老人福祉施設・指定短期入所生活介護事業所 「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について</p> <p>同第13号 施設・設備整備等積立金の一部取り崩しについて</p> <p>同第14号 令和3年度補正予算(第1号)について</p> <p>同第15号 水害対策強化事業工事に係る契約について</p> <p>(3) 協議事項</p> <p>① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>

<p>第五回 理事会</p>	<p>令和4年 1月27日 木曜日 (書面)</p>	<p>(1) 報告事項 報告第4号 監事監査の結果について</p> <p>(2) 議案 議案第16号 令和4年度の主要な業務契約について 同第17号 令和3年度補正予算(第2号)について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>
<p>第六回 理事会</p>	<p>令和4年 3月31日 木曜日</p>	<p>(1) 報告事項 報告第5号 介護老人福祉施設に係る福祉サービス第三者評価受審結果について</p> <p>(2) 議案 議案第18号 令和3年度補正予算(第3号)について 同第19号 令和4年度事業計画について 同第20号 令和4年度予算について 同第21号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑給与規程の一部改正(案)について 同第22号 社会福祉法人狛江福祉会こまえ苑育児・介護休業等に関する規則の一部改正(案)について 同第23号 社会福祉法人狛江福祉会経理規程の一部改正(案)について 同第24号 指定居宅介護支援事業所「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第25号 債券購入について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>

3. 共通部門

(1) 職員の配置状況

令和4年3月31日現在

施設 職 種	特別養護 老人ホーム	高齢者デイ サービスセンター	地域包括 支援センター	居宅介護 支援事業所	計
施設長	1				1
副 苑 長					
事務員	3	1 (1)	(1)		4 (2)
生活相談員	2	2 3 (兼務再掲)			4
介護職員	25(17)	9 (7)			34(24)
保健師			1		1
看護職員	4 (2)	1 (3)	2		7 (5)
管理栄養士	1				1
主任介護支援専門員			1	2	3
介護支援専門員	1 (兼務再掲)		(2)	3 (1)	3 (3)
社会福祉士			1 (1)		1 (1)
精神保健福祉士			1		1
機能訓練指導員	1				1
サービス提供責任者		3			3
ヘルパー		(20)			(20)
運転手	(1)	(6)			(7)
医師	(3)				(3)
居室整備	(2)				(2)
調理員	委 託				
計	37(25)	16(37)	6 (4)	5 (1)	64(67)

注：() 内は非正規職員の別掲。

(2) 正規職員採用・退職状況

<特別養護老人ホーム>

採用 該当なし

退職

職 種	年月日	令和3年	令和4年	計	摘 要
		12/31	2/28		
介護職員		1	1	2	自己都合
計		1	1	2	

<高齢者デイサービスセンター>

採用

年月日 職 種	令和4年		計	摘 要
	1/1	2/1		
介護職員	2	1	3	
計	2	1	3	

退職

年月日 職 種	令和3年		令和4年	計	摘 要
	5/14	12/31	3/31		
介護職員	1	1		2	自己都合
看護職員			1	1	定年
計	1	1	1	3	

<地域包括支援センター・居宅介護支援事業所>

採用

年月日 職 種	令和3年		計	摘 要
	4/1			
看護師	1		1	
計	1		1	

退職

年月日 職 種	令和3年	令和4年	計	摘 要
	6/30	3/31		
介護支援専門員	1	1	2	定年/職種転換
計	1	1	2	

(3) 職員研修実施状況

1) 施設外研修

①東京都及び関係機関主催

名 称 等	開催日程	人数
認知症地域支援推進員研修	9月(2日間)	1
東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	6~7月(2日間)	2
生活支援コーディネーター初任者研修	6~7月	1
市町村職員等高齢者権利擁護研修 権利擁護テーマ別実践研修1回目	5/17~(Web研修)	2
市町村職員等高齢者権利擁護研修 権利擁護テーマ別実践研修2回目	10/14	1
自立支援・重度化防止等介護支援専門員質の向上研修	8~9月(2日間)	1

認知症初期集中支援チーム員研修	1/22	1
東京都地域包括支援センター職員研修（現任研修）	10～11月（2日間）	1
東京都認知症介護基礎研修 e-ラーニング	11月	2
東京都認知症介護実践者研修（第17・18・19・20回）	12～2月	1
よくわかる!!LIFE活用術〔後編〕	10～11月	1
東京都キャラバンメイト養成研修	12月	2
介護支援専門員のための福祉用具・住宅改修	3/3	1

②東京都社会福祉協議会関係機関主催

名 称 等	開催日程	人数
令和3年度ショートステイWEB情報交換会	5/21, 22	1
高齢者福祉施設におけるサービスマナー研修会	6月～（動画配信）	38
高齢者福祉施設におけるチームマネジメントを学ぶ研修会	7/2、2/2	1
ハラスメント防止等管理者向けリスクマネジメント研修 メンタルヘルス講習会（管理者向け）	9/1～10/15	1

③各種研修会等

名 称 等	開催日程	人数
リスクマネジメント研修	5/13, 14	2
成年後見制度 基礎研修（6講座）	4～8月	1
実地指導・監査の対応ポイントから学ぶ法令順守の管理体制 ～指定訪問介護事業所における必須知識～	4/27	1
市区町村介護予防事業担当者向け研修【総論編】	6～7月	1
市区町村介護予防事業担当者向け研修【介護予防・フレイル 予防推進研修】	7～12月 (5日間)	1
高次脳機能障害者相談支援研修会	7/16～26	1
施設における介護ロボット・ICT導入事例	6～8月	38
ACP育みびと研修会	9～1月(3日間)	1
高齢者間の配偶者暴力（DV）を考える	10/7	1
東京都主任介護支援専門員専門更新研修	2～3月(8日間)	1
誤嚥を防ぐ食事ケアとポジショニングの基礎体験型セミナー	9/11, 25	1
「基本について学ぼう・根拠ある排泄ケア」「応用力で課題を 解決 困難事例への対応」	10～11月	3
家族介護者の仕事と介護の両立支援研修	11/19	1
東京都BCP策定講座②自然災害編	11/5	2
令和3年度医療と介護の多職種連携研修会	12/12	1
若年性認知症相談支援研修	1月	1

④施設内研修

事業別の実施のため、各事業において記載。

(4) 防災関係

消防署の指導による消防訓練を下記のとおり実施した。

回数	年 月 日	訓 練 内 容
1	令和3年4月28日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練（夜間想定）
2	令和3年5月26日	部分訓練、火災時の宿直に対する通報訓練
3	令和3年6月23日	部分訓練、通所介護事業避難訓練
4	令和3年7月28日	部分訓練、火災時の宿直に対する通報訓練
5	令和3年8月25日	部分訓練、屋内消火栓操作訓練
6	令和3年9月22日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練（夜間想定）
7	令和3年10月27日	消火訓練、岩戸町会合同震災訓練実施
8	令和3年11月25日	部分訓練、火災時の宿直に対する通報訓練
9	令和3年11月28日	総合訓練、福祉避難所開設訓練
10	令和3年12月22日	部分訓練、通所介護事業避難訓練
11	令和4年1月27日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練（夜間想定）
12	令和4年2月24日	部分訓練、屋内消火栓操作訓練
13	令和4年3月23日	部分訓練、火災時の宿直に対する通報訓練

(5) 地域交流事業

1) 地域交流委員会

地域交流事業は、地域交流委員会が活動を休止していることから、委員会主催の地域交流事業は実施しなかった。

2) こまえ苑広報委員会・広報誌の発行など

緊急事態宣言が発令された期間もあったが、5月・8月・11月・1月という年間の発行計画に基づき毎号900部発行することができた。今年度もコロナ禍により地域との交流が出来ずこれらを記事にすることができなかつたため、施設内で行われたイベントを積極的に掲載して情報発信を行った。

また、ホームページの充実については、広報委員会が中心となり日々の活動・行事の紹介等を更新することにより充実した内容になった。

3) 実習生受入れ状況

学校・施設名	年 月	人数 (1日)	日数	備考
世田谷福祉専門学校	令和3年7月	2	15	特養
	令和3年9月	2	20	
	令和3年11月	1	10	
東京都介護支援専門員実務研修	令和3年8月	1	1	居宅
	令和4年2月	1	1	
東京慈恵会医科大学	令和3年10月～11月	3	1	訪問
昭和大学	令和4年2月	1	1	包括
帝京平成大学	令和4年3月	2	7	特養・デイ・包括

※上記以外にも、随時実習受け入れる場合がある。

4) ボランティア事業

新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたが、令和3年7月からこまえ苑の花壇の手入れをする園芸ボランティアを開始した。新規ボランティア4名で、活動実績は29回となった。

4. 総務課

(1) 総務係

重点目標や目標に掲げた内容について、今年度は若干退職者が多かったが新規採用できたため現状を維持することができました。また、各新型コロナウイルス感染症補助金等を活用し基盤整備を行い引き続き前進しました。

1	目 標	法人の使命・経営の理念・ビジョン及び基本方針を理解し、これに基づいた業務基盤の整備・確立を目指す
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ① 将来の設備等の更新に備え計画通り施設・設備整備等積立金を45,790万円を積立てることができた。 ② 職員個々の研修派遣計画を立てたが、新型コロナウイルス感染症により各種研修が中止となった。リモート研修で参加できるものはリモートで参加した。 ③ 人材紹介会社等に頼らない人材採用活動を継続できた。また、正規職員の離職率（定年退職者は除く）は6%と上昇したが、ホームページに情報公開を継続し職員補充ができた。 ④ 公益財団法人JKA（競輪とオートレースの公益法人）に車両助成申請したが採択されなかったが、ノアを使い勝手の良い軽自動車のNボックスに更新した。 ⑤ 科学的介護情報システムLIFEに関する情報を入力することができ、全部署新たな加算を取得した。 ⑥ 新型コロナウイルス感染症の影響により、特養フロア床の張替えは施工業者が多数入れないため延期した。 ⑦ 高齢者施設等防災減災対策推進事業補助金（水害対策強化事業）を活用し、長年の課題であった経年劣化した変電設備の更新及び屋上移設により水害対策を強化した。 ⑧ 新型コロナウイルス感染症関連補助金として、両立支援等助成金（小学校休業等対応コース）による賃金補償、感染症対策設備整備推進事業による簡易陰圧装置2台設置、感染防止対策支援事業補助金による各種衛生用品購入、サービス提供体制確保事業補助金による職員罹患後の対応等を行った。 ⑨ 公益財団法人JKAの新型コロナウイルス感染症感染予防・防止のための整備補助事業により、サーマルカメラ1台・業務用空間除菌機器4台設置した。 ⑩ 狛江市の総合防災訓練に初めて参加し、狛江市職員と災害時における福祉避難所開設訓練を行った。
2	目 標	効率性・費用対効果を念頭においた課題検討と改善を目指す
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護現場改革促進事業補助金（デジタル機器導入促進事業）を活用し、デイサービスに介護システム入力用タブレット及びWi-Fi（2階の一部と3階以外）を整備することができた。

	<p>② ウェブサイトを積極的に活用し、安価な商品を精査することにより経費節減につながった。</p> <p>③ 自主研修制度により介護福祉士資格を5人が取得した。</p> <p>④ 光熱費は資源価格高騰により上昇した。</p>
--	---

(2) 栄養係

1	目 標	健康・栄養状態の維持、向上
	評 価	<p>① 栄養ケア・マネジメントを行うことにより、一人ひとりの摂食嚥下状態に合わせた食事内容、食事形態で提供した。栄養スクリーニング・モニタリング表を多職種で共有し、多角的視点で改善策を見出した。LIFEはフィードバック活用には至らなかった。</p> <p>② 20名に対して療養食を提供し、疾病の悪化進行を緩やかにした。</p> <p>③ 摂食嚥下不良により通常の食事量を喫食することが困難な利用者に対して、食事を濃厚流動食や栄養補助食品等に置き換えた。</p>
2	目 標	食事を通して生きる喜びを感じてもらう
	評 価	<p>① 献立は旬の食材を使い、できるだけその季節が感じられるように工夫した。食材の切り方や彩りを考慮し、見た目や食感に変化を持たせるように調理した。行事食のカードはデイサービスの他に、新たに特養にも配布し、食事に彩りを持たせた。</p> <p>② おやつバイキングを月2回に増やして実施した。</p> <p>③ デイサービスのお寿司バイキングを数年ぶりに開催した。</p>
3	目 標	衛生面・安全面の向上、適正なコスト管理、在庫管理
	評 価	<p>① 厨房内は「大量調理施設衛生管理マニュアル」に沿った衛生管理を行い、安全な食事提供に努めた。残菜・残食量を把握し、食材費、廃棄費用のコストの削減に努めた。</p> <p>② 世界情勢により食材の高騰、欠品が見受けられたが、献立等の工夫により予算内で平常通りの食事が提供できた。</p> <p>③ 配膳ミスが起こらないように、外国人職員のいるフロアの食札利用者名にアルファベットを記載した。</p>
4	目 標	食事の要望や意見を取り入れ、満足度を向上させる
	評 価	<p>① 食事に関する様々な意見を聞き取り、献立や食事の提供時に反映させた。食事時間には、直接利用者の様子を見たり話を聞く事により、要望に対して迅速に対応することができた。</p> <p>② 食事の満足度調査は聞き取り方式で行った。</p>

1) 栄養の目標（栄養摂取基準）

利用者ごとに個別に設定した給与栄養目標量の平均値に安全率10%を考慮し、こまえ苑の給食栄養目標量とした。

以下には、令和3年度の栄養摂取基準及び栄養出納の平均量を示す。

区分	エネルギー	蛋白質	蛋白質エネルギー比率	脂質エネルギー比率	Ca	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維
単位	kcal	g	%	%	mg	mg	μgER	mg	mg	mg	g
必要量	1,400	60.0	15~20	15~25	600	6.0	450	0.80	1.00	85	15.0
提供量	1,405	59.2	16.9	24.9	610	7.4	556	0.83	1.02	105	13.8

5. 特別養護老人ホーム（ショートステイ含む）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症が収束しない状況に向き合いながら、感染症拡大防止対策を継続し、対応してきました。感染者数が減少した12月13日から1月7日までの短期間ではありましたが、寄付頂いた対面用大型アクリル板を活用し対面の面会を実施し、39家族の面会がかないました。短い期間ではありましたが、家族には久々の対面でしたので、大変喜ばれました。なお、オンライン面会、ベランダ面会は継続中です。

発熱者が出た場合の対応として、新たに大型機器として次亜塩素酸除菌脱臭装置を各フロアに2台計4台設置し、陰圧装置（病原菌などが外に漏れないよう、気圧を低くし換気する装置）も2台設置できるように準備しました。新型コロナウイルス感染症の感染状況は、職員3人の罹患がありましたが利用者の罹患はありませんでした。

入退所の状況は、16人で前年度（27人）に比べると、11人減っています。新規入所までの待機期間は、事前の入所検討委員会で3人確保している成果もあり、前年の平均12.7日から8.5日となり、稼働率も前年度の95.6%から97.5%と上昇しました。なお9月の特養の実績が99.9%と、今までにない数値となり、職員の意識も変わってきているように感じます。

ショートステイについては、軽度医療者の受け入れや関係機関等への周知、キャンセル時の早期対応、特に特養の空床利用等で稼働率アップに努めた結果、稼働率は前年度の80.2%から92.1%と上昇しています。

新たに介護事故に対する事故防止委員会に安全管理体制（リスクマネジメント）を加えて、リスクマネジメント研修を受講した職員を2名配置し、職員向けのリスクマネジメント研修を実施しました。今後も介護事故ゼロに努めます。

看取りについては、今年度は13人となりました。24時間対応いただける嘱託医のおかげもあり、職員のケア対応も定着してきました。また、夜間の介護職員のたん吸引の資格取得も5人輩出でき、取得者が徐々に増え、全職員認定獲得に近づいています。他にも職員の目標管理設定や業務のマニュアル作成と指導担当者の配置など新たな教育の流れができ、職員各自の成長が見られます。

（1）重点目標 全職種共通

1	目 標	危機管理を定着させるための体制づくり
	評 価	① 感染症対応の研修は従来通りに加え、新型コロナウイルス感染症対応研修も実施できた。ガウンテクニックやゾーニング対応の研修は、フロアごとに研修を実施し、その後も自発的に練習する形で実施できた。 ② 感染予防対策としての環境整備は定期的実施し、物品不足は回避できた。 ③ 事故防止に努めるため、事故防止委員会の定期開催、啓発活動により事故報告数は減少となった。一方で繰り返す事故もあり細かく検討を行う体制を整える必要性を感じた。 ④ 災害に対する体制づくりは両係長が研修参加、作成に着手しはじめている。
2	目 標	「看取り」「たんの吸引」を定着させるための体制づくり
	評 価	① 看取りについては、感染症対応もあり振り返りが満足にできない時があった。しかし経験を重ねることで大きな失敗もなく、おおむねご家族が満足いただける形でお見送りすることができた。 ② たんの吸引については、全職員の認定を目指すにあたり、5名職員を

		研修に参加させることができ、7割以上の職員が認定者となった。
3	目 標	職員体制の充実により、安定して質の高い介護が提供できる体制づくり
	評 価	① ケアの質を高めるため、新規採用者対象のOJT活用はできている。しかし新社会人、中途採用者等段階に合わせた教育スケジュールの検討の必要性を感じた。一部中止もあったが現任職員の外部研修参加（リスクマネジメント、BCP等）も維持することができた ② 業務マニュアルの定期的更新は実施中。更なる活用、精度アップを目指す。 ③ 「認知症」「褥瘡」「口腔ケア」「リスクマネジメント」、いずれも内部研修の形で開催できた。 ④ キャリア段位制度導入に関しては、検討自体も行うことができず来年度の課題と言える。
4	目 標	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
	評 価	① 在宅で実施している医療的ケアの受け入れについては継続して行っている。ケースバイケースの対応となっているが、都度検討し柔軟な受け入れの対応に努めた。 ② 運転できる職員の配置は引き続き配慮してきたが、相談員不在によるショートステイの送迎機会はなかった。（苑内利用者の送迎はあり）
5	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① ICT、ロボットの活用は検討したが、採用には至っていない。整理整頓に関しても意識はしてきたが、完全整理とはなっていない。面会に関してはコロナ感染症下における方法を模索、一時的ではあったが対面面会を再開することができた。 ② 外出の実施はできなかったが、オンラインやDVDの活用などにより、新たな活動の模索をすることができた。相談員、管理栄養士協力による喫茶店の再開、お祭りや初詣などの行事に関しては室内で実施する形式が定着化できた。 ③ LIFEについては、係長担当による入力作業のみにとどまり、周知や効率化、業務の見直しには至っていない。 ④ 退苑者が続く時期もあったが、入所待ちの利用者がいない状況を避け空床期間を短くすることができた。 ⑤ ボランティア対応については実施することができなかった。災害対策についてはBCP作成取り組みにより継続中。今後も周知、研修など引き続き要検討。

ショートステイ

1	目 標	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
	評 価	① 土日祝日の入退苑の実施については、土曜日・祝日は小型車やデイサービスの送迎が可能な利用者を対象に実施。（家族付き添いなし）（136件/年）日曜日は家族送迎での入退苑を受け入れている。（12件/年）午後入苑等に関しては、希望者のみ受け入れている。 ② 軽度医療のある利用者の受け入れについては、在宅酸素と胃ろう造設・インスリン注射の必要な方の受け入れにあたって検討を行い、受け入れを実施している。
2	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	① コロナ禍での受け入れについて、問診票での聞き取りや受け入れ時の

		<p>バイタル測定、入浴時の全身観察などで対応している。</p> <p>② 空床ベッドの活用は緊急時などに活用ができた。(延べ168日)</p> <p>③ 利用に繋げるため、ホームページに情報を掲示し、定期的に更新を行っている。ケアマネ、家族などへの情報提供は行えた。</p> <p>④ センサーの設置は、ベッド数の多い3階の5床に常時設置できた。転倒のリスクの低減に寄与できたと思われる。</p>
--	--	---

医務

1	目 標	感染予防・感染拡大防止の強化
	評 価	<p>① 職員・利用者には毎日検温を行い記録し、体調不良時には出勤せずに連絡と受診の結果の報告を指導し、実施できた。</p> <p>② 感染症内部研修は、10月と3月に実施した。新型コロナウイルス感染時の予防衣の着脱やノロウイルス感染時の嘔吐物の処理について、実技を交えながら全員が内部研修を受けることができた。</p> <p>③ 面会制限の解除や面会をする際の条件について特養合同会議で話し合い、苑全体で連携をとり決定事項はホームページに載せ情報を伝えることができた。</p>
2	目 標	看取り介護の継続
	評 価	<p>① 入所時の意向の確認については、急変時に積極的に治療するか、また、胃ろうなどを希望するかなどの確認は全員確認ができた。1年ごとの確認ではなく、体調に変化があるときにはその都度家族へ報告し、できるだけ希望に添えるよう医師の協力も得て対応した。</p> <p>② 人生の最後を施設で迎える方のケアについては、看取り介護向上委員会を中心に話し合い、無理のない食事や口腔ケアなどのアドバイスや指導を行った。また、ケア時に気づいたことをノートに書き込み、家族に伝えるなど新たな試みも看取り介護向上委員会の思案で取り組んだ。</p>
3	目 標	「褥瘡ケア」「夜間のたん吸引」の継続
	評 価	<p>① 外部研修が始まり、今年度は介護職員によるたん吸引資格を5名取得できた。</p> <p>② 夜間のたん吸引は、実際には少数の方の吸引が実施されたが問題はなかった。</p> <p>③ 褥瘡ケアについては、褥瘡評価表を作成し、計画・実施・評価を行った。褥瘡内部研修は計画通り3回実施できた。</p>
4	目 標	支援を継続できるための意識を改革していく
	評 価	<p>① 褥瘡と看取り介護の計画・実施・評価・報告を実施したが、加算の取得までには至らなかった。</p> <p>② 業務マニュアルと年間計画表の作成については、着手できなかったため来年度も継続する。</p>

(2) 年齢別内訳

令和4年3月31日現在(単位:人)

区分	男	女	計	構成比(%)
64歳以下	0	0	0	0.0
65～69歳	1	1	2	2.6
70～74歳	2	1	3	3.8
75～79歳	1	4	5	6.4
80～84歳	6	11	17	21.8
85～89歳	6	23	29	37.2
90～94歳	3	12	15	19.2
95～99歳	0	7	7	9.0
100歳以上	0	0	0	0.0
合計	19	59	78	100.0
最高年齢	92歳	96歳		
最低年齢	68歳	69歳		
平均年齢	83.1歳	87.1歳	86.1歳	

(3) 在苑期間の状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

区分	男	女	計	構成比(%)
～1年未満	2	12	14	17.9
1年以上～2年未満	11	9	20	25.6
2年以上～3年未満	2	8	10	12.8
3年以上～4年未満	0	8	8	10.3
4年以上～5年未満	0	5	5	6.4
5年以上～6年未満	0	3	3	3.8
6年以上～7年未満	3	8	11	14.1
7年以上～8年未満	0	2	2	2.6
8年以上～9年未満	1	1	2	2.6
9年以上～10年未満	0	1	1	1.3
10年以上	0	2	2	2.6
合計	19	59	78	100.0

(4) 退所者の状況

令和3年度

性別	年齢	退所年月日	在苑期間		退所理由
女	98歳	R3.4.1	1年	0ヵ月	死亡
女	88歳	R3.5.5	1年	9ヵ月	死亡
男	80歳	R3.5.11	5年	0ヵ月	医療機関入院
女	90歳	R3.5.18	6年	0ヵ月	死亡
女	88歳	R3.6.19	10年	1ヵ月	死亡
女	94歳	R3.6.21	0年	1ヵ月	死亡
女	101歳	R3.7.9	13年	10ヵ月	死亡

女	84歳	R 3. 7. 20	0年	4ヵ月	医療機関入院
女	95歳	R 3. 9. 28	5年	0ヵ月	死亡
女	95歳	R 3. 12. 21	8年	7ヵ月	死亡
男	72歳	R 3. 12. 28	13年	8ヵ月	医療機関入院
女	90歳	R 4. 2. 16	1年	1ヵ月	死亡
女	99歳	R 4. 2. 17	4年	1ヵ月	死亡
女	78歳	R 4. 2. 24	3年	1ヵ月	死亡
男	72歳	R 4. 3. 21	2年	3ヵ月	死亡
女	93歳	R 4. 3. 26	1年	9ヵ月	死亡

*内訳 死亡による退所 13人（男1人、女12人）
医療機関に入院 3人（男性2人、女1人）
合 計 16人（男3人、女13人）

(5) ADL の状況

1) 要介護度分布

令和4年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	0	0	1	9	9	19
女	2	0	14	26	17	59
計	2	0	15	35	26	78
構成比(%)	2.6	0.0	19.2	44.9	33.3	100.0

2) ADL（日常生活動作）の状況

区分	J	A	B	C	合計
人数	3	18	42	15	78
構成比(%)	3.8	23.1	53.9	19.2	100.0

注：分類の基準「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）」

ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する。
ランク A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。
ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つ。
ランク C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。

3) 認知症の程度

区分	自立	I	II	III	IV	M	合計
人数	1	4	17	35	19	2	78
構成比(%)	1.3	5.1	21.8	44.9	24.3	2.6	100.0

注：分類の基準「認知症高齢者の日常生活自立度」

I	何らかの認知障害を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが多少

	見られても、誰かが注意していれば自立できる。
Ⅲ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
Ⅳ	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

(6) 利用者の日常生活

1) 行事实施状況

開催月日	行事名	内容等
3月22日(火) ～ 4月1日(金)	お花見	近隣外出の許可が下りたが天候悪化や新型コロナウイルス感染者対応により、今年度もベランダから遠景の桜を見る形での開催となった。大きな桜のタペストリーを購入し雰囲気を作り上げた。
5月3日(月)4日 (火)5日(水)	菖蒲湯 端午の節句	入浴日に合わせて湯船に菖蒲を浮かべ、香りや季節感を味わっていただいた。5日には飾っていた兜の前で合唱、季節感を楽しんだ。
7月7日(水)	七夕	各フロアに笹を準備し、願い事を書いた短冊や飾りを下げ、季節感を味わっていただいた。
9月8日(水)	敬老会	昼食に祝い膳を提供、午後から各フロアの食堂にてお祝い会。一緒に楽しむ時間を過ごした。
9月29日(水)	こまえ苑祭	コロナ感染により前年同様室内での開催となる。気温の上昇の懸念はなかったが、変更案の9月で実施した。午前中に神輿やサンバパレード、昼食はお重を提供。午後は各フロアで釣りやボウリングなどを実施し利用者が楽しむ時間を過ごした。
12月22日(水)	年忘れ クリスマス会	クリスマスの飾りつけをして、クリスマスメニューの食事やゲーム、二人羽織などで楽しみながら、1年を締めくくった。
12月20日(月)21日 (火)22日(水)	ゆず湯	入浴日に合わせて湯船にゆずを浮かべ、香りや季節感を味わっていただいた。
1月1日(土)	初詣	ふれあいホールに模擬神社を設営し初詣を実施。ほぼ全利用者が参加できた。昼食はおせち料理で新春のお祝いをした。
1月12日(水)	もちつき大会	各フロアでそれぞれ臼や杵を用い、年男年女の方や希望者に餅つきを実施していただいた。
2月3日(木)	豆まき	鬼役の職員がフロアや居室をまわり、豆の代わりに新聞玉を投げ、鬼を払い福を呼び込んだ。
3月3日(木)	ひな祭り	2階、3階ごとにひな人形を飾り、職員と一緒に春にちなんだ歌を合唱した。

2) クラブ実施状況

クラブ名	活動日		活動内容
生花	第2・4金曜日	午前10時20分～11時20分	生花

3) 音楽療法

コロナ禍であり自粛している。

4) 散歩・買物・カラオケ

買い物に関しては、引き続きネットスーパーを利用し、問題なく実施できている。
苑外での散歩についてはコロナ禍であり自粛している。主に日曜日にベランダでの外気浴やカラオケを実施。

5) 個別外出の実施

コロナ禍であり自粛している。

6) 理美容実施状況

①理容

○実施日…毎月1回第4月曜日（原則）

○費用……2,200円（散髪のみ）・1,200円（顔剃りのみ）・2,700円（セット）

○協力……東京都理容環境衛生同業組合 武蔵調布支部（毎回2～3人）

○月別実施人数（特養利用者）

月	人数	月	人数
4月	11	11月	13
5月	14	12月	13
6月	14	1月	16
7月	15	2月	15
8月	10	3月	11
9月	15	合計	156
10月	9	月平均	13

②美容

○実施日…偶数月1回第3木曜日（原則）

○費用……2,750円（カット）・8,800円（パーマ、マニキュア）

○協力……ディチャーム株式会社（毎回2～3人）

○月別実施人数（特養利用者）

月	人数（カッコ内含む）	月	人数（カッコ内含む）
4月	31（パーマ等1）	10月	27（パーマ等2）
5月	23（パーマ等3）	11月	25（パーマ等1）
6月	30（パーマ等2）	12月	29（パーマ等3）
7月	20（パーマ等2）	1月	25（パーマ等2）
8月	26（パーマ等1）	2月	29（パーマ等2）
9月	25（パーマ等4）	3月	27（パーマ等2）
合計	317（パーマ等25） 別途SS6利用あり		
平均	26/月		

(7) 家族との連携

1) 行事関係：納涼祭への参加（未実施）

2) 利用者家族懇談会への参加（未実施）

(8) 医療と看護

利用者の健康管理とともに、安全で快適な日常生活が送られるよう看護サービスの充実に努めた。

1) 入苑時健康管理

- ① 入苑後の嘱託医による診察を実施。
- ② 入苑日より3日間は、バイタルチェックを行い、利用者の健康レベルの把握を行っている。

2) 利用者健康診断と歯科健診

- ① 8月に健康診断を実施した。採血・レントゲン・心電図・尿検査を実施。
- ② 8月に狛江市歯科医師会による歯科健診を実施した。また、歯科医師往診により通院が困難な利用者の歯科治療を行っている。

3) 感染症に対する取り組み

感染症に対しては、手洗い・うがい・体温測定の徹底を基本としている。

《新型コロナウイルス感染症》

- ① 情報を取り入れ、産業医・嘱託医と相談しながらマニュアルを作成し、研修の中で周知徹底した。
- ② 発熱者については、嘱託医の指示のもとPCR検査・抗原検査を実施した。
- ③ 面会については、オンライン面会とベランダ面会を継続。(ただし看取りの方の面会は可) 令和3年12月13日～令和4年1月7日までは、東京都のコロナ感染者が減少したため、対面の面会を実施することができた。その際は、大型アクリル板の使用・1家族2人までとし、10分間・予約制・握手などの接触はしないなどの条件で喫茶室を使用し問題なく実施できた。

- ④ コロナワクチン接種は令和3年4月27日～令和4年1月27日の期間で3回目まで利用者・全職員終了している。(1回目141名、2回目207名、3回目258名)

《ノロウイルス及び感染性胃腸炎・疥癬》

- ① 今年度は、感染性胃腸炎の発症はみられなかった。
 - ② 疥癬の感染者はいなかった。
- *インフルエンザについては、新型コロナウイルス感染症のおそれがあり検査を実施することができなかった。

4) 肺炎球菌ワクチンの接種について

- ① 今年度は39人が肺炎球菌ワクチン接種を受けた。

5) 嘱託医による施設内の診察状況（別表参照）

6) 他の医療機関による診療状況（別表参照）

7) 入院医療機関の利用状況

(単位：人)

病院名	延人数
慈恵医科大学付属第三病院	3
日産厚生会玉川病院	5
調布東山病院	1
稲城台病院	1
東京医療センター	1
調布病院	1
合計	12

8) 入退院の状況

(単位：人)

入院期間	1～30日	31～60日	61～90日	91日以上	合計
入院者実数	11	2	1	0	14

(10) リハビリテーションとマッサージ

1) 機能訓練、嚥下マッサージについて

月曜日から金曜日まで、機能訓練指導員において、マッサージ及び可動域訓練などの機能訓練を行っている。また、昼食前に誤嚥予防の観点から嚥下マッサージを実施している。

2) リハビリテーションについて

機能訓練指導員が、作業療法士から引き継ぐ形で個別リハビリを行っている。なお、集団体操は、機能訓練指導員との連携のうえ水曜日にリハビリ担当が中心になり実施し、より多くの利用者にリハビリの機会を設けている。

3) 個別機能訓練実施計画書について

3ヵ月に1回の評価を行い、個々のニーズに則した計画を作成している。変化に即した計画の変更を実施している。

<リハビリ・マッサージ実施延人数>

令和3年度 (単位：人)

月	集団体操 (2階)	集団体操 (3階)	ショート ステイ	個別リハ	機能訓練	嚥下
4月	14	31	3	39	286	21
5月	12	41	3	30	257	18
6月	12	0	0	31	330	21
7月	16	0	0	41	314	36
8月	0	6	0	32	256	36
9月	71	36	1	33	291	40
10月	0	28	3	34	308	44
11月	0	49	6	28	268	34
12月	10	0	0	33	277	38
1月	0	23	0	35	264	36
2月	0	7	0	28	269	36
3月	16	39	2	37	316	44
総計	151	260	18	401	3,436	404

嘱託医による施設内の診察状況(令和3年度)

(単位:人)

区分 月	内科		精神科		皮膚科		歯科往診		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
4月	78	156	10	10	9	9	3	3	100	178
5月	79	140	9	9	8	8	0	0	96	157
6月	79	180	9	9	9	9	0	0	97	198
7月	82	165	9	9	9	9	0	0	100	183
8月	90	218	8	8	9	9	0	0	107	235
9月	86	154	8	8	12	12	1	1	107	175
10月	86	174	8	8	8	8	4	5	106	195
11月	81	162	8	8	8	8	1	1	98	179
12月	75	154	8	16	8	8	1	1	92	179
1月	82	165	9	9	7	7	1	1	99	182
2月	78	157	9	9	8	8	1	4	96	178
3月	82	205	9	18	5	5	1	1	97	229
合計	978	2,030	104	121	100	100	13	17	1,195	2,268

他の医療機関による診療状況(令和3年度)

(単位:人)

区分 月	内科		外科		整形外科		耳鼻咽喉科		皮膚科		脳外科		婦人科		泌尿器科		精神科		眼科		歯科		合計		救急車による搬送	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
4月	3	3	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	7	0	0
5月	4	4	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7	0	0
6月	4	4	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	1	1
7月	2	2	1	1	3	4	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	9	1	1
8月	4	4	1	1	6	7	0	0	1	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	14	16	0	0
9月	2	2	1	1	3	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	2	2	10	11	0	0
10月	4	4	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	1	1
11月	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	2	2
12月	2	2	0	0	2	2	1	1	2	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	9	11	1	1
1月	3	5	0	0	1	2	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	11	0	0
2月	3	3	0	0	1	2	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	8	9	0	0
3月	2	2	1	1	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	1	1
合計	34	36	5	6	21	26	2	2	13	21	7	7	0	0	1	1	2	2	1	1	4	4	90	106	7	7

特別養護老人ホーム・ショートステイ(88床)合算 事業実績

稼働率目標値:98%

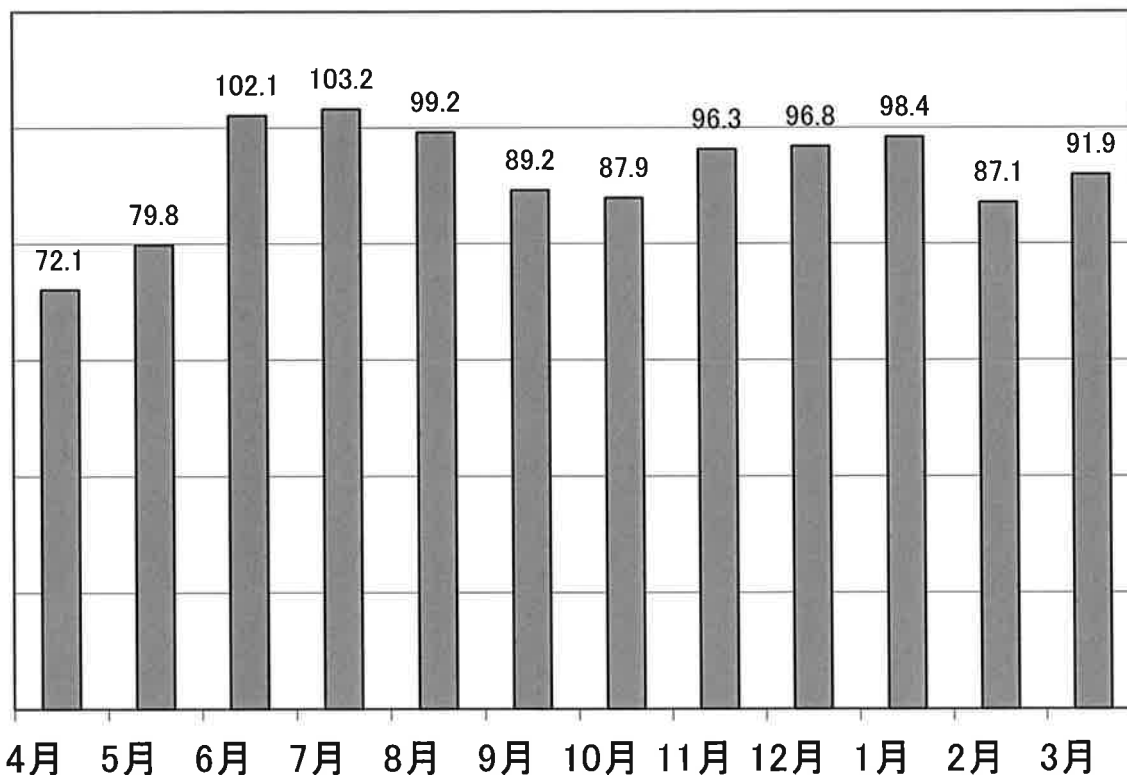
延利用日数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	62	64	62	188	64	64	65	193	381
要介護 2	15	21	27	63	38	33	20	91	154
要介護 3	455	505	513	1,473	524	529	519	1,572	3,045
要介護 4	1,055	1,112	1,119	3,286	1,186	1,184	1,142	3,512	6,798
要介護 5	914	915	864	2,693	881	897	866	2,644	5,337
特養+SS計	2,501	2,617	2,585	7,703	2,693	2,707	2,612	8,012	15,715
月間定員(日数×88)	2,640	2,728	2,640	8,008	2,728	2,728	2,640	8,096	16,104
稼働率(88床)	94.7%	95.9%	97.9%	96.2%	98.7%	99.2%	98.9%	99.0%	97.6%

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	11	11	0	0	0	0	11	11
要介護 1	66	66	66	198	62	58	69	189	387	768
要介護 2	23	26	37	86	30	40	36	106	192	346
要介護 3	527	501	496	1,524	515	449	517	1,481	3,005	6,050
要介護 4	1,154	1,062	1,132	3,348	1,180	1,058	1,183	3,421	6,769	13,567
要介護 5	909	900	875	2,684	888	794	877	2,559	5,243	10,580
特養+SS計	2,679	2,555	2,617	7,851	2,675	2,399	2,682	7,756	15,607	31,322
月間定員(日数×88)	2,728	2,640	2,728	8,096	2,728	2,464	2,728	7,920	16,016	32,120
稼働率(88床)	98.2%	96.8%	95.9%	97.0%	98.1%	97.4%	98.3%	97.9%	97.4%	97.5%

ショートステイ 利用定員8人

区分 月	実利用者数(人)			延利用者日数(日)			実施日数 (日)	1日平均 利用者数(人)	摘要
	男	女	計	男	女	計			
4月	7	19	26	52	121	173	30	5.8	
5月	6	17	23	71	127	198	31	6.4	
6月	9	20	29	84	161	245	30	8.2	
7月	8	19	27	89	167	256	31	8.3	
8月	6	22	28	81	165	246	31	7.9	
9月	11	17	28	77	137	214	30	7.1	
10月	9	22	31	61	157	218	31	7.0	
11月	8	21	29	62	169	231	30	7.7	
12月	11	21	32	72	168	240	31	7.7	
1月	11	19	30	107	137	244	31	7.9	
2月	7	20	27	72	123	195	28	7.0	
3月	12	21	33	86	142	228	31	7.4	
合計	105	238	343	914	1,774	2,688	365	7.4	
前年度比%	111.7	104.4	106.5	126.4	108.7	114.1	100.0	113.8	
令和2年度計	94	228	322	723	1632	2355	365	6.5	
31年度計	110	276	386	762	2,007	2,769	366	6.5	
30年度計	72	267	339	616	1,909	2,525	365	6.9	

ショートステイ稼働率(特養空きベッド利用含む)(%)



6. 高齢者デイサービスセンター

日常生活支援総合事業、通所介護、認知症対応型通所介護の三事業とも、新型コロナウイルス感染症予防による利用自粛等も少なく、稼働率は前年を上回ることができました。今年度もマスク着用の促し、アクリル板の設置、活動物品の消毒、席の間隔を空ける等の感染症予防対策を継続実施する中での支援提供となりました。

制限ある中での活動でしたが、寿司バイキングの開催、行事では職員が演芸等実施し、利用者も楽しむことができたと思います。

来年度も重度認知症のある方の受け入れを行いながら、地域ニーズの窓口としての働きを継続していきます。

1	目 標	サービス内容の充実を図る																								
	評 価	<p>① 入浴サービスの年間延べ人数では、前年度 2,381 人に対して今年度 3,124 人であった。職員自身の対応能力も向上されたと評価する。</p> <p>② 講師ボランティアによる活動は中止とし、職員が趣向を凝らし活動を実施した。利用者とのかかわりを密に行うことができ、利用者の満足感も得ることができた。</p> <p>③ 日々の昼食前の口腔体操を継続実施できた。誤嚥をされた利用者はいませんでした。</p>																								
2	目 標	認知症の方に対する対応能力、介護技術を身につけるとともに、働きがいのある職場を目指す																								
	評 価	<p>① 職員会議の司会・記録を輪番制にし、スキル習得に努めたかったが、緊急事態宣言発令もあり会議の中止を余儀なくされた。</p> <p>② 外部研修ができない状況であったため、オンライン研修を実施した。</p> <p>③ 職員個人面談を実施し、自由意見発言の場ができた。</p>																								
3	目 標	様々な環境を持つ方の受け入れを行い、稼働率の安定、向上を目指す																								
	評 価	<p>① 新規利用調整に関しては、見学調整から利用開始に係る期間を利用者の都合を考慮しながら短縮することができている。毎月居宅支援事業所を訪問していたが、コロナ禍であるため、訪問確認を行いながら実施した。</p> <p>② 利用者数の数値目標（稼働率）に関しては、目標値を達成できなかったが、努力を惜しまず調整、受け入れを行った結果、改善された。（ ）は前年実績。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>日平均利用数</th> <th>利用開始数</th> <th>利用終了数</th> <th>延べ欠席数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><基本></td> <td>23.4 (21.6)</td> <td>40 (29)</td> <td>30 (41)</td> <td>1,329 (1,978)</td> </tr> <tr> <td><総合事業></td> <td>4.4 (4.6)</td> <td>7 (8)</td> <td>10 (8)</td> <td>171 (201)</td> </tr> <tr> <td><基本+総合事業></td> <td>27.7 (26.2)</td> <td>47 (37)</td> <td>40 (49)</td> <td>1,500 (2,179)</td> </tr> <tr> <td><認知症対応型></td> <td>5.9 (5.0)</td> <td>16 (9)</td> <td>15 (6)</td> <td>553 (773)</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 算定要件に当てはまる加算は取得できている。</p>	事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数	<基本>	23.4 (21.6)	40 (29)	30 (41)	1,329 (1,978)	<総合事業>	4.4 (4.6)	7 (8)	10 (8)	171 (201)	<基本+総合事業>	27.7 (26.2)	47 (37)	40 (49)	1,500 (2,179)	<認知症対応型>	5.9 (5.0)	16 (9)	15 (6)
事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数																						
<基本>	23.4 (21.6)	40 (29)	30 (41)	1,329 (1,978)																						
<総合事業>	4.4 (4.6)	7 (8)	10 (8)	171 (201)																						
<基本+総合事業>	27.7 (26.2)	47 (37)	40 (49)	1,500 (2,179)																						
<認知症対応型>	5.9 (5.0)	16 (9)	15 (6)	553 (773)																						

(1) 事業活動状況

1) 通所介護、総合事業での活動

<活動メニュー>

体操・カラオケ・書道・頭の体操・テーブルゲーム・歌の会・手工芸・壁面装飾・レクリエーションゲーム

<評価と課題>

活動の種類は大きく二つに分け、身体全体や手先を動かすものと、頭を使うク

イズ形式などのものを取り入れ、個人の趣向やその日の体調を見ながら計画・実施している。ADLの低下や認知症などで意思表示が難しい場合は、家族の意向を聞き取りつつ、その方にとってより良い活動への参加を促した。新型コロナウイルス感染症予防対策により各種活動物品の消毒等を行い、ソーシャルディスタンスを保った配席での活動を実施し、人数的にも密集を避ける配慮や実施場所の換気等にも配慮をした。

また、外部ボランティア講師による活動も中止となったため、活動内容の変更や講師なしでの実施等の対応を図りつつ、利用者の満足度を落とさぬ工夫を行い、書道活動のお手本のリニューアルや手工芸等の創作活動においては、季節に応じた壁面装飾や持ち帰り作品の活動を行い、今年度は毎月の担当を介護職員以外にも拡大し全職員が何らかの形でかかわる事で、よりバラエティーに富んだ活動の提供に努めた。

2) 認知症対応型通所介護での活動

認知症特有の症状がある高齢者を対象に、明るくゆったりとした環境をつくり、情緒の安定と心身機能の維持・向上を目的とした援助に努めた。紐巻きや基石の色分け等を取り入れた機能訓練を実施した。

<評価と課題>

明るくゆったりと落ち着いて過ごしていただき、お互いの顔が見え、会話ができる室内環境へ整備した。その結果、利用者間のコミュニケーションの時間が増え、会話や笑顔も多くみられるようになった。また、手作業も多く取り入れ、集中して行う時間が増えている。

3) 入浴

利用者の健康状態に合わせ、特殊浴槽・一般浴槽での柔軟な対応を行っている。利用回数に関わらず希望される利用者に週2回の入浴日を設け、入浴を実施している。また、入浴サービス開始時及び1年ごとに、主治医からの身体状況に関する情報を提出していただき、健康チェック・感染症予防や急変防止に努めた。

<評価と課題>

15人の定員設定になり、入浴希望のある方の受け入れも多くなるようになった。ただし、特定の曜日は定員人数に達しており、待機者リストに登録し待機していただき対応している。

4) 食事

食事形態の変更や自助食器の提供などの個別対応を行い、ソフト食も含め身体状況に合わせた特殊調理を施した食事の提供も行っている。誕生会のある週には、特別感のあるケーキ、行事ではテーマに合わせた食事やおやつを提供している。今年度はイベント食として寿司バイキングを行い、好評であった。

また、季節ごとに旬の食材を使った食事の提供も行っているほか、赤飯・おこわ・日本各地の郷土料理をそれぞれ提供した。

<評価と課題>

多くの利用者には好評であるが、利用者の嗜好による細かな要望について細やかに対応できるのか、管理栄養士・担当職員により日々の意見を取り入れられるよう現場に出て聞き取りを行うよう心がけていく。

5) 健康チェック・機能減退防止・健康増進

利用者の高齢化や独居または高齢者のみ世帯の利用者が増えている。それに伴い医療行為を必要とする利用者も多くなってきている。自己管理が難しい利用者の薬を預かる等、服薬支援を行っている。血糖値測定、インスリン自己注射、人工肛門等、専門職としてのアドバイスを利用者や家族に行っている。MCSによる

情報共有は、利用者の状態把握とタイムリーな連携に大変役立っている。

<評価と課題>

利用者の情報収集を行うとともに、バイタル測定や状態観察を行い、健康管理に留意している。利用者家族、関係職種・事業所等との連絡を行い、利用中の健康状態や異常の早期発見に努めている。訪問医を導入する利用者が増え、在宅での看取りを希望する家族も増えていくと思われるため、デイサービスでの受け入れ体制を整えていく必要がある。

身長・体重計を購入したことにより、計測がスムーズにできるようになった。また、利用者の状態把握に役立っている。

6) 送迎

デイサービス及び一部のショートステイの利用者に自宅までの送迎を実施している。利用者の状況に応じて時間やルートの細かい変更や介助方法の調整など、可能な限り個別ニーズに沿ったサービスを提供している。

一方で、利用者各戸の状況には、急な階段や狭い場所での段差などさまざまな厳しい環境もある。利用者職員双方の安全確保を第一に、家族や関係事業所と相談しながら対応している。

<評価と課題>

狛江市の北側エリアに居住している方や、送迎時間に指定のある方などが増えている。また、長時間の利用が難しいと思われる方には、遅い時間のお迎え、早い時間の帰宅とするなど、できる限りの対応を行っている。送迎枠がかなり埋まりつつあるため、新規利用や利用増回となる方の送迎は、空きのある枠での調整となっている。

7) デイサービスでの1日

- 9:00 ~ 利用者到着・健康チェック・水分補給
- 10:30 ~ 朝の会・活動
- 12:15 ~ 昼食
- 13:00 ~ コーヒータイム・談話
- 14:00 ~ 活動
- 15:15 ~ おやつ・水分補給
- 16:10 ~ 1便出発・活動

(2) 講師によるクラブ活動

新型コロナウイルス感染症予防対策として講師による活動は中止とした。

1) 音楽療法 書道 脳いきいきアート等

<評価と課題>

音楽療法、脳いきいきアート・・・手工芸やカレンダー作成、歌の会等で職員が趣向を凝らし提供した結果、利用者からの評価も良好であった。書道に関しては、新しいお手本をインターネット等から抽出し、季節に合ったお手本の作成を行い、各月ごとにファイルを作成、難易度の高いお手本も数種類用意した。

行事実施状況

	行事名	内 容
7月	納涼祭	新型コロナウイルス感染症予防の関係により、今年度も演芸ボランティアを呼ばず感染対策を行い実施した。午前中に体操を行い、昼休みに職員が利用者の自席を回りくじ引きなどの縁日的余興を行った。景品は大当たり・中当たり・小当たりの三種類を用意している。午後は職員主催によるスイカ割り大会を行った。昼食は松花堂弁当を提供した。飲み物は、りんごジュース、オレンジジュース、冷たいお茶、ノンアルコールビールを提供し、利用者に好きな飲み物を選んでもらった。お祭りの雰囲気を出できるように装飾やBGMを使用している。
9月	敬老会	2日間で実施。新型コロナウイルス感染症予防のため、7月と同様に演芸ボランティアを呼ばず「1人ひとりにお祝い品の贈呈」、「職員有志による余興」を行った。昼食は敬老祝い膳、納涼祭に続きジュース等の飲み物を提供した。今年のお祝い品は「フラワーギフトタオル、マスクケース、マスク」をお贈りした。
1月	新年会	2日間で実施。新型コロナウイルス感染予防のため、7月・9月と同様に演芸ボランティアを呼ばず、職員による余興とゲームを実施した。 ① 正月にちなんだすごろくゲームを実施、すごろくゲームについては前年のものをリニューアルし、見やすい大きさに作成すると共にゲーム用のお金を印刷し、すごろくの進行と勝敗に使用した。 ② 獅子舞を登場させて童謡「一月一日」を合唱し職員からの新年の挨拶を行った。昼食は、赤飯、天ぷら、お刺身、おせち盛り合わせなど新年にふさわしいものを提供した。

<評価と課題>

どの行事も、演芸ボランティアの力を借りず、職員主催の企画を考案し大変好評をいただいた。各行事の実施についてもソーシャルディスタンスや換気などの感染予防のための配慮をしつつ、より楽しんで頂ける内容を検討した。食事でも普段と違う豪華なものが出ることで、とても楽しみにされている方も多く見られた。しばらくは演芸ボランティアの参加は期待できないため、職員が創意工夫し行っていく。

(3) 家族懇談会

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日	開催中止 (開催予定日 6月15日)	開催中止 (開催予定日 11月23日)
参加家族数	0人	0人
開催予定内容	① 苑長挨拶・職員自己紹介 ② グループに分かれて、懇談会 ③ こまえ苑からのお知らせ	① 苑長挨拶・職員自己紹介 ② グループに分かれて、懇談会 ③ こまえ苑からのお知らせ

<評価と課題>

家族懇談会は、両日共に新型コロナウイルス感染症予防対策継続中という事もあり中止した。例年は、年2回開催し、家族よりいろいろなご意見をいただき、家族同士の意見交換の場として有意義な交流の場所であった。

来年度は再開を目指して検討していきたい。家族からも開催の要望がでていることも踏まえ、感染予防対策を徹底して検討していく。

(4) 運営推進会議（認知症対応型通所介護）

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日 (郵送)	令和3年9月11日(土) 郵送にて開催	令和4年3月10日(木) 郵送にて開催
出席者	利用者、家族、地域の代表者、当サービス知見者、自治体職員、地域包括支援センター職員、事業所代表者、事業所管理者	
主な内容	①サービス提供内容について ②利用者数等の事業実績について ③その他意見交換	

<評価と課題>

運営推進会議は、両日ともに新型コロナウイルス感染症予防対策継続中という事もあり、対面での開催は中止とし、前回会議録、主な行事、事業報告を郵送し、書面にて年2回「運営推進会議」の開催とした。地域とどのように密着した関わりを深めていくか出席者で意見交換を行うものであるが、会議を重ねていくなかで、地域との関わりが多く持てるよう意見交換を行っていききたい。

サービス実績報告(通所介護、介護予防通所介護、総合事業・国基準通所型サービス)

利用率目標値:750人以下/月 (1日29人)

利用定員:1日35人

利用者数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	207	201	202	610	207	233	261	701	1,311
要介護2	173	175	196	544	225	202	211	638	1,182
要介護3	55	72	76	203	66	55	61	182	385
要介護4	67	45	50	162	53	55	65	173	335
要介護5	50	51	51	152	49	43	56	148	300
合計	552	544	575	1,671	600	588	654	1,842	3,513
稼働日数	26	26	26	78	27	26	26	79	157
月間定員(日数×定員)	910	910	910	2,730	945	910	910	2,765	5,495
利用率	60.7%	59.8%	63.2%	61.2%	63.5%	64.6%	71.9%	66.6%	63.9%

利用者数	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	244	250	215	709	230	213	242	685	1,394	2,705
要介護2	217	228	215	660	202	209	262	673	1,333	2,515
要介護3	47	47	54	148	45	56	70	171	319	704
要介護4	80	44	51	175	61	59	63	183	358	693
要介護5	55	46	47	148	46	43	39	128	276	576
合計	643	615	582	1,840	584	580	676	1,840	3,680	7,193
稼働日数	26	26	24	76	24	24	27	75	151	308
月間定員(日数×定員)	910	910	840	2,660	840	840	945	2,625	5,285	10,780
利用率	70.7%	67.6%	69.3%	69.2%	69.5%	69.0%	71.5%	70.1%	69.6%	66.7%

デイサービス実績報告(総合事業・市基準通所型サービスA)

利用定員: 1日5人

利用率目標値: 750人以下/月 (1日5人)

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
延利用者数								
事業対象者	27	32	29	88	34	35	98	186
要支援 1	6	8	7	21	12	9	29	50
要支援 2	67	73	75	215	74	66	224	439
合計	100	113	111	324	120	110	351	675
稼働日数	26	26	26	78	26	26	79	157
月間定員(日数×定員)	130	130	130	390	130	130	395	785
利用率	76.9%	86.9%	85.4%	83.1%	92.3%	84.6%	88.9%	86.0%

利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
延利用者数									
事業対象者	34	29	31	94	31	42	103	197	383
要支援 1	8	9	8	25	4	5	15	40	90
要支援 2	62	63	56	181	50	50	155	336	775
合計	104	101	95	300	85	97	273	573	1,248
稼働日数	26	26	24	76	24	27	75	151	308
月間定員(日数×定員)	130	130	120	380	120	135	375	755	1,540
利用率	80.0%	77.7%	79.2%	78.9%	70.8%	71.9%	72.8%	75.9%	81.0%

サービス実績報告(認知症対応型)

利用率目標値:1日平均8人以上

利用定員:1日10人

延利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	17	14	18	9	5	5	19	68
要介護2	15	25	27	38	37	35	110	177
要介護3	69	74	75	70	80	73	223	441
要介護4	31	30	23	23	25	28	76	160
要介護5	24	22	27	30	29	28	87	160
合計	156	165	170	170	176	169	515	1,006
稼働日数	26	26	26	27	26	26	79	157
月間定員(日数×定員)	260	260	260	270	260	260	790	1,570
利用率	60.0%	63.5%	65.4%	63.0%	67.7%	65.0%	65.2%	64.1%

延利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	9	10	8	8	8	12	28	55	123
要介護2	34	35	27	27	23	26	76	172	349
要介護3	73	68	65	55	58	74	187	393	834
要介護4	23	17	16	15	4	6	25	81	241
要介護5	31	26	16	12	12	15	39	112	272
合計	170	156	132	117	105	133	355	813	1,819
稼働日数	26	26	24	24	24	27	75	151	308
月間定員(日数×定員)	260	260	240	240	240	270	750	1,510	3,080
利用率	65.4%	60.0%	55.0%	48.8%	43.8%	49.3%	47.3%	53.8%	59.1%

通所介護

令和4年3月31日現在(単位:人)

月	要介護度 1		要介護度 2		要介護度 3		要介護度 4		要介護度 5		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	94	113	63	110	2	53	13	54	16	34	188	364
5月	97	104	69	106	13	59	9	36	16	35	204	340
6月	99	103	67	129	13	63	12	38	16	35	207	368
7月	94	113	72	153	20	46	11	42	19	30	216	384
8月	110	123	70	132	22	33	10	45	18	25	230	358
9月	124	137	67	144	22	39	13	52	19	37	245	409
10月	112	132	61	156	13	34	31	49	20	35	237	406
11月	118	132	63	165	13	34	19	25	21	25	234	381
12月	104	111	53	162	16	38	16	35	21	26	210	372
1月	110	120	55	147	18	27	21	40	22	24	226	358
2月	98	115	56	153	29	27	21	38	21	22	225	355
3月	104	138	76	186	37	33	23	40	25	14	265	411
合計	1,264	1,441	772	1,743	218	486	199	494	234	342	2,687	4,506

支援・介護度分布状況

(単位:%)

月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	37.5	31.3	10.0	12.1	9.1	100.0
5月	36.9	32.2	13.2	8.3	9.4	100.0
6月	35.1	34.1	13.2	8.7	8.9	100.0
7月	34.5	37.5	11.0	8.8	8.2	100.0
8月	39.6	34.4	9.4	9.4	7.3	100.0
9月	39.9	32.3	9.3	9.9	8.6	100.0
10月	37.9	33.7	7.3	12.4	8.6	100.0
11月	40.7	37.1	7.6	7.2	7.5	100.0
12月	36.9	36.9	9.3	8.8	8.1	100.0
1月	39.4	34.6	7.7	10.4	7.9	100.0
2月	36.7	36.0	9.7	10.2	7.4	100.0
3月	35.8	38.8	10.4	9.3	5.8	100.0
平均	37.6	34.9	9.8	9.6	8.1	100.0

総合事業・市基準通所型A 利用者状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

月	事業対象者			要支援 1			要支援 2			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4月	4	23	27	0	6	6	8	59	67	12	88	100
5月	5	27	32	0	8	8	9	64	73	14	99	113
6月	4	25	29	0	7	7	9	66	75	13	98	111
7月	4	25	29	0	8	8	9	75	84	13	108	121
8月	5	29	34	0	12	12	7	67	74	12	108	120
9月	4	31	35	0	9	9	9	57	66	13	97	110
10月	4	30	34	0	8	8	8	54	62	12	92	104
11月	3	26	29	0	9	9	8	55	63	11	90	101
12月	4	27	31	0	8	8	7	49	56	11	84	95
1月	4	26	30	0	6	6	6	49	55	10	81	91
2月	4	27	31	0	4	4	6	44	50	10	75	85
3月	3	39	42	0	5	5	9	41	50	12	85	97
合計	48	335	383	0	90	90	95	680	775	143	1,105	1,248

支援・介護度分布状況

(単位:%)

月	事業対象者	要支援1	要支援2	合計
4月	27.0	6.0	67.0	100.0
5月	28.3	7.1	64.6	100.0
6月	26.1	6.3	67.6	100.0
7月	24.0	6.6	69.4	100.0
8月	28.3	10.0	61.7	100.0
9月	31.8	8.2	60.0	100.0
10月	32.7	7.7	59.6	100.0
11月	28.7	8.9	62.4	100.0
12月	32.6	8.4	58.9	100.0
1月	33.0	6.6	60.4	100.0
2月	36.5	4.7	58.8	100.0
3月	43.3	5.2	51.5	100.0
平均	32.3	7.4	60.3	100.0

認知症対応型通所介護事業利用者状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

区分 月	要支援1・2		要介護度 1		要介護度 2		要介護度 3		要介護度 4		要介護度 5		合計								
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
4月	0	0	0	4	13	17	10	5	15	8	61	69	13	18	31	0	24	24	35	121	156
5月	0	0	0	1	13	14	12	13	25	7	67	74	13	17	30	0	22	22	33	132	165
6月	0	0	0	5	13	18	11	16	27	8	67	75	6	17	23	0	27	27	30	140	170
7月	0	0	0	4	5	9	14	24	38	7	63	70	5	18	23	0	30	30	30	140	170
8月	0	0	0	5	0	5	13	24	37	5	75	80	8	17	25	0	29	29	31	145	176
9月	0	0	0	4	1	5	10	25	35	2	71	73	10	18	28	0	28	28	26	143	169
10月	0	0	0	4	5	9	12	22	34	2	71	73	3	20	23	0	31	31	21	149	170
11月	0	0	0	5	5	10	13	22	35	0	68	68	0	17	17	0	26	26	18	138	156
12月	0	0	0	3	5	8	7	20	27	0	65	65	0	16	16	0	16	16	10	122	132
1月	0	0	0	3	5	8	10	17	27	0	55	55	0	15	15	0	12	12	13	104	117
2月	0	0	0	4	4	8	11	12	23	0	58	58	0	4	4	0	12	12	15	90	105
3月	0	0	0	5	7	12	13	13	26	0	74	74	0	6	6	0	15	15	18	115	133
合計	0	0	0	47	76	123	136	213	349	39	795	834	58	183	241	0	272	272	280	1,539	1,819

(単位:%)

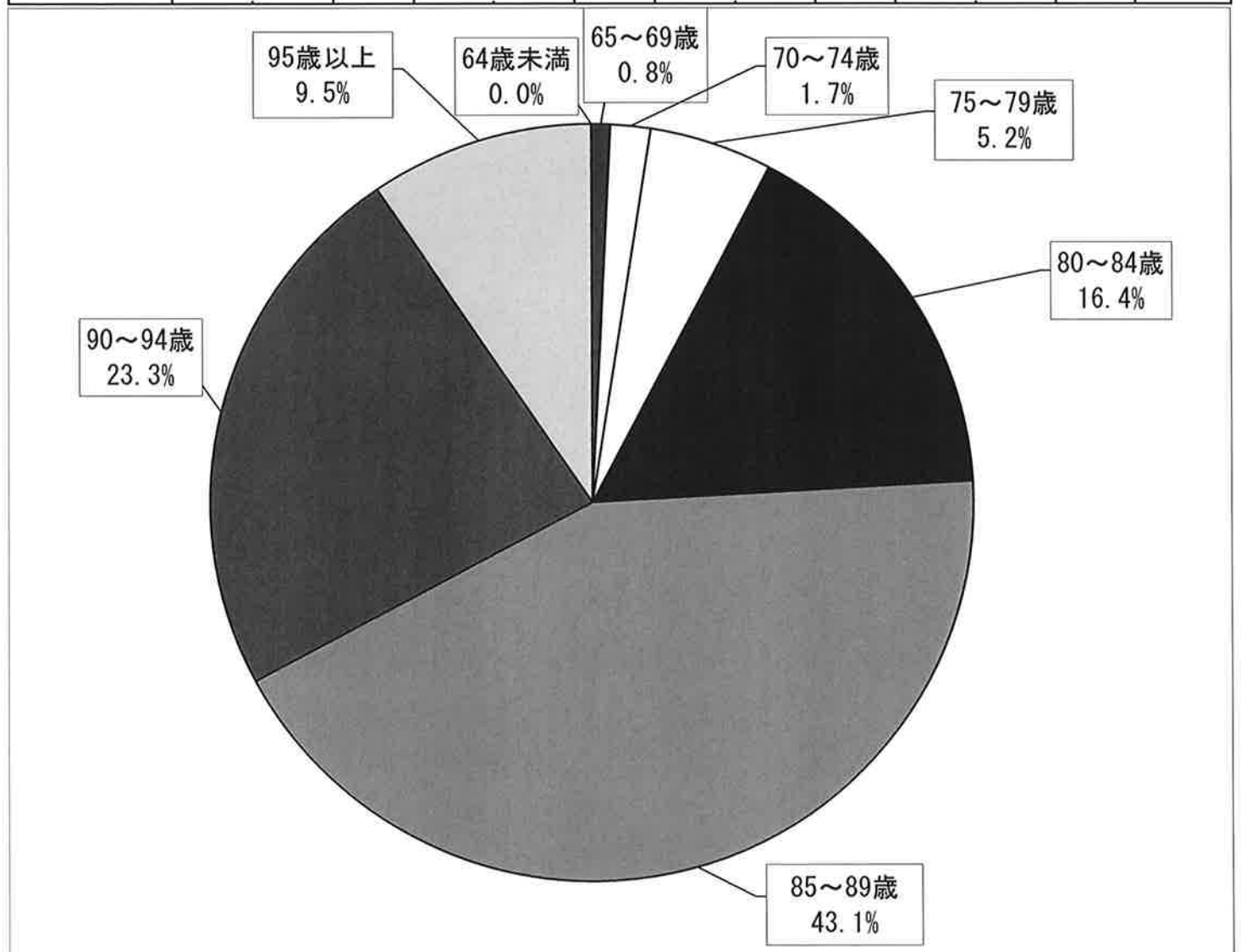
支援・介護度分布状況

区分 月	要支援1・2		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	男	女	計	計	計	計	計	計
4月	0.0	0.0	10.9	9.6	44.2	19.9	15.4	100.0
5月	0.0	0.0	8.5	15.2	44.8	18.2	13.3	100.0
6月	0.0	0.0	10.6	15.9	44.1	13.5	15.9	100.0
7月	0.0	0.0	5.3	22.4	41.2	13.5	17.6	100.0
8月	0.0	0.0	2.8	21.0	45.5	14.2	16.5	100.0
9月	0.0	0.0	3.0	20.7	43.2	16.6	16.6	100.0
10月	0.0	0.0	5.3	20.0	42.9	13.5	18.2	100.0
11月	0.0	0.0	6.4	22.4	43.6	10.9	16.7	100.0
12月	0.0	0.0	6.1	20.5	49.2	12.1	12.1	100.0
1月	0.0	0.0	6.8	23.1	47.0	12.8	10.3	100.0
2月	0.0	0.0	7.6	21.9	55.2	3.8	11.4	100.0
3月	0.0	0.0	9.0	19.5	55.6	4.5	11.3	100.0
平均	0.0	0.0	6.9	19.3	46.4	12.8	14.6	100.0

利用者の年齢構成

令和4年3月31日現在（単位：人）

事業 年齢	通所介護			総合事業			認知症対応型 通所介護			合計			構成比
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	%
64歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
65～69歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.8
70～74歳	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	2	1.7
75～79歳	3	0	3	0	2	2	0	1	1	3	3	6	5.2
80～84歳	6	7	13	1	1	2	0	4	4	7	12	19	16.4
85～89歳	7	26	33	1	6	7	3	7	10	11	39	50	43.1
90～94歳	3	17	20	0	3	3	0	4	4	3	24	27	23.3
95歳以上	5	4	9	0	0	0	0	2	2	5	6	11	9.5
合計	26	54	80	2	13	15	3	18	21	31	85	116	100.0



区分 月	実利用者数(人)						延利用者数(人)						実施日数 (日)	1日平均 利用者数 (人)	摘 要		
	一般入浴			機械入浴			実利用者 合計(人)	一般入浴			機械入浴					延利用者 合計(人)	
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女					計
4月	11	22	33	3	11	14	47	61	127	188	18	53	71	259	26	10.0	
5月	10	21	31	4	12	16	47	58	122	180	25	59	84	264	26	10.2	
6月	10	22	32	4	12	16	48	55	122	177	28	66	94	271	26	10.4	
7月	10	24	34	4	11	15	49	56	131	187	24	52	76	263	27	9.7	
8月	11	23	34	4	10	14	48	60	126	186	26	46	72	258	26	9.9	
9月	8	26	34	6	11	17	51	46	133	179	38	60	98	277	26	10.7	
10月	8	25	33	6	11	17	50	39	137	176	33	58	91	267	26	10.3	
11月	7	26	33	5	11	16	49	35	140	175	32	50	82	257	26	9.9	
12月	7	25	32	5	11	16	48	32	137	169	28	48	76	245	24	10.2	
1月	8	25	33	5	9	14	47	35	128	163	30	45	75	238	24	9.9	
2月	8	24	32	5	11	16	48	44	125	169	28	51	79	248	24	10.3	
3月	8	25	33	5	10	15	48	48	135	183	34	60	94	277	27	10.3	
合 計	106	288	394	56	130	186	580	569	1,563	2,132	344	648	992	3,124	308	10.1	

曜日別 年間実績表

		通所定員 35名		通所A定員 5名		認知定員 10名		定員合計 50名	
月	曜日	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
4	月	88	62.9	15	75.0	20	50.0	123	61.5
	火	80	57.1	14	70.0	30	75.0	124	62.0
	水	84	60.0	23	115.0	23	57.5	130	65.0
	木	116	66.3	9	36.0	27	54.0	152	60.8
	金	102	58.3	19	76.0	35	70.0	156	62.4
	土	82	58.6	20	100.0	21	52.5	123	61.5
5	月	105	60.0	20	80.0	23	46.0	148	59.2
	火	84	60.0	17	85.0	28	70.0	129	64.5
	水	84	60.0	23	115.0	21	52.5	128	64.0
	木	93	66.4	9	45.0	29	72.5	131	65.5
	金	79	56.4	20	100.0	26	65.0	125	62.5
	土	99	56.6	24	96.0	38	76.0	161	64.4
6	月	88	62.9	16	80.0	17	42.5	121	60.5
	火	111	63.4	21	84.0	39	78.0	171	68.4
	水	114	65.1	27	108.0	31	62.0	172	68.8
	木	97	69.3	10	50.0	28	70.0	135	67.5
	金	81	57.9	18	90.0	26	65.0	125	62.5
	土	84	60.0	19	95.0	29	72.5	132	66.0
7	月	92	65.7	23	115.0	22	55.0	137	68.5
	火	89	63.6	16	80.0	31	77.5	136	68.0
	水	96	68.6	21	105.0	18	45.0	135	67.5
	木	124	70.9	13	52.0	31	62.0	168	67.2
	金	101	57.7	23	92.0	28	56.0	152	60.8
	土	98	56.0	25	100.0	40	80.0	163	65.2
8	月	113	64.6	30	120.0	31	62.0	174	69.6
	火	120	68.6	22	88.0	33	66.0	175	70.0
	水	97	69.3	20	100.0	23	57.5	140	70.0
	木	99	70.7	11	55.0	24	60.0	134	67.0
	金	78	55.7	18	90.0	29	72.5	125	62.5
	土	81	57.9	19	95.0	36	90.0	136	68.0
9	月	110	78.6	16	80.0	24	60.0	150	75.0
	火	95	67.9	20	100.0	26	65.0	141	70.5
	水	112	64.0	25	100.0	28	56.0	165	66.0
	木	147	84.0	10	40.0	33	66.0	190	76.0
	金	93	66.4	19	95.0	24	60.0	136	68.0
	土	97	69.3	20	100.0	34	85.0	151	75.5
10	月	113	80.7	16	80.0	22	55.0	151	75.5
	火	92	65.7	19	95.0	29	72.5	140	70.0
	水	94	67.1	17	85.0	19	47.5	130	65.0
	木	116	82.9	7	35.0	25	62.5	148	74.0
	金	115	65.7	20	80.0	31	62.0	166	66.4
	土	113	64.6	25	100.0	44	88.0	182	72.8

曜日別 年間実績表

		通所定員 35名		通所A 定員 5名		認知定員 10名		定員合計 50名	
月	曜日	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
11	月	129	73.7	19	76.0	26	52.0	174	69.6
	火	108	61.7	24	96.0	34	68.0	166	66.4
	水	99	70.7	15	75.0	18	45.0	132	66.0
	木	113	80.7	5	25.0	26	65.0	144	72.0
	金	81	57.9	18	90.0	18	45.0	117	58.5
	土	85	60.7	20	100.0	34	85.0	139	69.5
12	月	110	78.6	19	95.0	20	50.0	149	74.5
	火	86	61.4	19	95.0	24	60.0	129	64.5
	水	94	67.1	15	75.0	15	37.5	124	62.0
	木	115	82.1	8	40.0	25	62.5	148	74.0
	金	85	60.7	14	70.0	16	40.0	115	57.5
	土	92	65.7	20	100.0	32	80.0	144	72.0
1	月	97	69.3	16	80.0	20	50.0	133	66.5
	火	92	65.7	18	90.0	21	52.5	131	65.5
	水	102	72.9	15	75.0	15	37.5	132	66.0
	木	113	80.7	6	30.0	21	52.5	140	70.0
	金	91	65.0	17	85.0	11	27.5	119	59.5
	土	89	63.6	19	95.0	29	72.5	137	68.5
2	月	92	65.7	15	75.0	15	37.5	122	61.0
	火	100	71.4	12	60.0	23	57.5	135	67.5
	水	96	68.6	14	70.0	13	32.5	123	61.5
	木	109	77.9	10	50.0	20	50.0	139	69.5
	金	88	62.9	18	90.0	12	30.0	118	59.0
	土	95	67.9	16	80.0	22	55.0	133	66.5
3	月	105	75.0	10	50.0	18	45.0	133	66.5
	火	128	73.1	19	76.0	31	62.0	178	71.2
	水	113	64.6	20	80.0	19	38.0	152	60.8
	木	144	82.3	13	52.0	25	50.0	182	72.8
	金	91	65.0	15	75.0	14	35.0	120	60.0
	土	95	67.9	20	100.0	26	65.0	141	70.5
年間	月	1,242	69.8	215	83.8	258	50.4	1,715	67.3
	火	1,185	65.0	221	84.9	349	67.0	1,755	67.4
	水	1,185	66.5	235	91.9	243	47.4	1,663	65.2
	木	1,386	76.2	111	42.5	314	60.6	1,811	69.7
	金	1,085	60.8	219	86.1	270	52.3	1,574	61.6
	土	1,110	62.4	247	96.8	385	75.1	1,742	68.4

7. ホームヘルプ事業

ヘルパーについては認定ヘルパー2名が登録となり、登録ヘルパー1名が常勤となったが、自身や家族の事情により3名が休止中となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できていなかった月1回のサービス提供責任者及びヘルパーが介する定例会を6月より開催できることになり、ミニ研修についても再開し、何より顔を合わせての集まりができるようになったことはヘルパーからも安堵の声が聞かれています。

1	目 標	事故防止への取り組み
	評 価	<p>① 事故防止への取り組みとして、今年度は定例会を開催できる時期もあり、レジュメによる事故報告と他に定例会の中で事故防止に関するミニ研修を行うことができた。普段の訪問の中で、「もしかしたらこんな事故が起こるかもしれない」という予測をすることで、事故を予防できる可能性があることを共有できた。</p> <p>② 今年度の事故報告は18件となっており、前年度と同数となった。事故内容としては遅刻、連絡ミスが多くみられた。ヘルパーのうっかり忘れに関しては、なかなか防ぐことは難しいかと思われるが、連絡ミスによる遅刻など防げる事故は数件あり、事務所内での連絡調整などの行い方を再確認している。</p>
2	目 標	専門職としての知識や技術を目指す
	評 価	<p>① 6月より定例会を再開することになり今年度の中心的なテーマであった認知症に関するミニ研修を実施することができた。</p> <p>② 認知症利用者への声掛けや対応の仕方はケースによっては触れることができた。その他の対応が難しい方へは、口頭でのアドバイスになる割合が多かった。</p>
3	目 標	関係機関との連携を強化していく
	評 価	<p>① 新型コロナウイルスへの感染予防対策もあり事業者連絡会は開催できなかった。</p> <p>② サービス担当者会議も感染予防に伴い開催数が少なく、紙面での意見提出となったケースも多かった。MCSに登録がある利用者に関してはリアルタイムの情報を受け取ることができ、こちらからの発信もできた。急ぐものはメールや電話、その他毎月のモニタリング報告で情報発信を行った。</p>

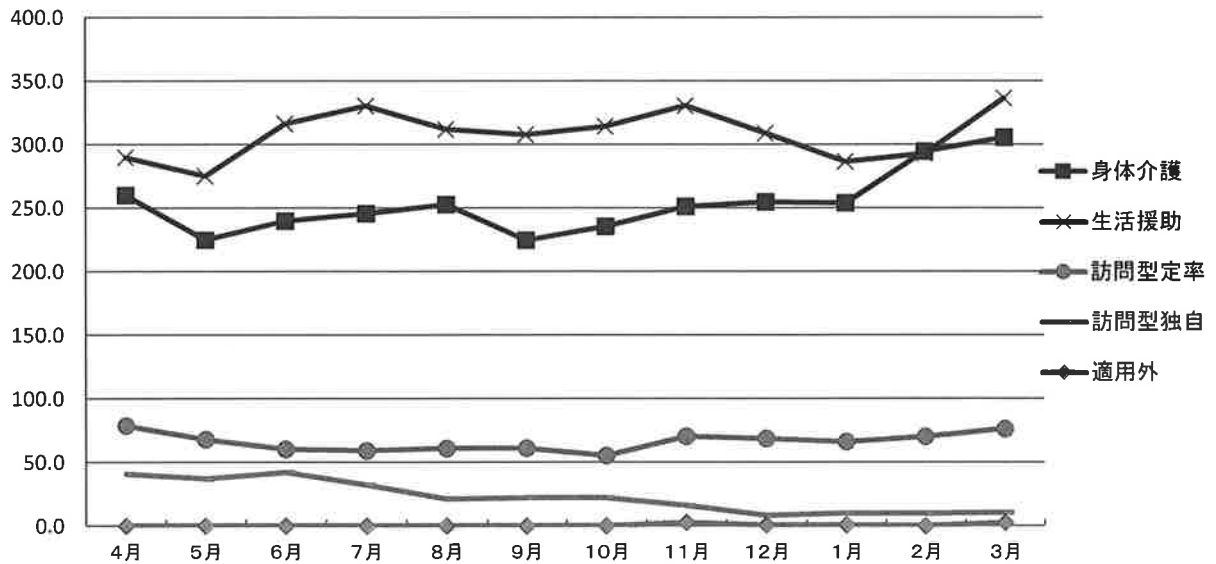
年間訪問時間数

◎訪問介護及び予防介護の訪問時間

(単位：時間)

	身体介護	生活援助	訪問型定率	訪問型独自	小計	適用外	合計
4月	259.9	289.7	78.6	40.8	668.9	0.0	668.9
5月	224.7	275.0	67.8	36.8	604.3	0.0	604.3
6月	239.7	316.2	60.0	42.0	657.8	0.0	657.8
7月	245.5	330.3	59.0	32.0	666.8	0.0	666.8
8月	252.6	311.8	60.8	21.0	646.1	0.0	646.1
9月	224.5	307.8	61.0	22.0	615.3	0.0	615.3
10月	235.3	314.1	55.0	22.0	626.4	0.0	626.4
11月	250.9	330.5	70.3	16.0	667.7	2.5	670.2
12月	254.7	308.7	68.5	8.0	639.9	0.5	640.4
1月	253.8	286.4	66.0	10.0	616.3	0.5	616.8
2月	294.4	292.7	70.0	9.5	666.6	0.0	666.6
3月	305.3	336.4	76.3	10.3	728.2	2.4	730.6
合計	3,041.2	3,699.5	793.1	270.3	7,804.1	5.9	7,810.0
平均	253.4	308.3	66.1	22.5	650.3	0.5	650.8
構成比	39.0%	47.4%	10.1%	3.5%	100.0%		

(時間)



新規登録・利用終了者数推移

	新規登録数		利用終了数		利用終了理由					
	介護	総合事業	介護	予防	死亡	施設	入院	転居	軽快	その他
4月	4	2	8	1	3	1	1	0	2	2
5月	4	0	6	0	2	1	0	2	1	0
6月	4	0	3	2	1	0	1	0	1	2
7月	3	0	5	0	2	2	0	0	0	1
8月	8	0	4	0	2	1	0	0	1	0
9月	3	0	4	0	1	0	3	0	0	0
10月	4	1	1	0	0	1	0	0	0	0
11月	4	1	2	0	1	1	0	0	0	0
12月	1	1	4	1	4	0	0	0	0	1
1月	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0
3月	1	1	2	0	0	1	0	0	0	1
小計	41	9	42	4	19	8	5	2	5	7
合計	50		46							

* 上記数字は実際に利用を開始した月となっています。

ホームヘルプ事業稼働実績

(単位:時間)

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
訪問介護	549.6	499.7	555.8	1,605.1	575.8	564.4	532.3	1,672.4	3,277.5
予防訪問介護	119.3	104.6	102.0	325.9	91.0	81.8	83.0	255.8	581.7
計	668.9	604.3	657.8	1,931.0	666.8	646.1	615.3	1,928.2	3,859.1

(単位:時間)

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
訪問介護	549.4	581.4	563.4	1,694.2	540.3	587.1	641.7	1,769.0	3,463.2	6,740.6
予防訪問介護	77.0	86.3	76.5	239.8	76.0	79.5	86.5	242.0	481.8	1,063.4
計	626.4	667.7	639.9	1,933.9	616.3	666.6	728.2	2,011.0	3,944.9	7,804.0

8. 地域包括支援センター

(1) 総合相談支援事業

目 標	複雑化する高齢者の相談に対して相談機能の強化・充実を図り、地域の公的な相談窓口としての役割を果たしていく
計 画	<p>① 専門機関としての機能向上 年間延べ5,521件（うち実人数は3,979人）の相談に対応した。毎朝ミーティングを行い、初動対応や個別ケースの検討を実施した。これまでの各専門職に加え今年度より配置された精神保健福祉士からの専門的チームアプローチも今後も活用しながら対応を強化したい。</p> <p>② 孤立する高齢者の早期発見 近隣住人や民生委員から情報提供があったケースには速やかに対応している。</p> <p>③ 包括的な相談窓口への体制強化 コロナ禍で中止となった研修もあったが、部署内で年間12件の研修を受講できた。受講内容を部署内で共有し対応強化に繋げている。</p> <p>④ 地域住民との顔の見える関係づくり 地域団体への参加は新型コロナウイルスの感染状況に左右されたが、サロンの開催時には必ず参加し連携を図っている。また、地域のコミュニティー紙である「いこいの便り」を年4回発行し情報発信が継続できるよう努めた。</p> <p>⑤ 地域団体との連携強化 地域ケア会議は年間8件開催し、関係者間の連携を強化している。</p>

(2) 権利擁護事業

目 標	高齢者自身が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、権利擁護のための支援を行う
計 画	<p>① 高齢者虐待への対応 年間延べ22件（実人数9人、新規受理2件）の対応を行った。毎月の定例進捗会議に参加し、ケースについて行政の担当部署と市内の三包括で協議し解決に向けての方針を確認しながら対応した。 高齢者虐待ではないが、高齢者の親が認知症などの原因により障がいの子に対する身体的虐待が発生し、世帯支援、養護者支援を行ったケースなどもあった。複合的な問題を抱えたケースへの対応が増加している。</p> <p>② セルフネグレクトの防止及び対応 セルフネグレクトケースに関しては長い期間をかけた関係性づくりが重要となるので、根気強い対応を行っている。</p> <p>③ 成年後見制度の活用 年間延べ50件（実人数13人）の相談に対応した。あんしん狛江と連携を取りながら対応しているが、まだまだ成年後見制度に抵抗を示す高齢</p>

	<p>者や家族も多いので今後も周知活動が必要である。</p> <p>④ 消費者被害の防止対策 年間12件の相談に対応した。警察や狛江市消費生活センターなどと連携しながら対応を行った。</p>
--	---

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

目 標	多様な生活課題を抱えた高齢者が、その人らしい生活が継続できるような課題に応じたあらゆる資源を活用し、包括的・継続的に支援していく
計 画	<p>① 地域の介護支援専門員へのサポート 介護支援専門員からの相談は年間のべ244件の相談に対応した。支援方針の検討、助言、同行訪問等の後方支援を行った。</p> <p>② 質の高いケアマネジメントが提供される環境づくり 介護支援専門員向けの研修会を「言語聴覚士のリハビリテーション」というテーマで動画配信にて開催した。初めての動画配信方式での開催だったがトラブルなく実施できた。来年度は年2回の開催を目指す。 事例検討会は初のオンライン形式で開催した。今年度は三包括合同での開催だったが、来年度は各包括で1回ずつの開催を目指す。</p> <p>③ 地域ケア会議の実施 個別ケア会議を年間8回開催した。その中から地域課題となるものを抽出、整理して生活支援体制整備協議会に提供する地域課題検討幹事会も年4回参加した。</p>

(4) 介護予防・日常生活支援事業

目 標	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、住民主体の多様なサービスを含めた幅広い支援を活用し、地域包括ケアシステムの推進を目指す
計 画	<p>① 介護予防ケアマネジメント 月平均198件のケアマネジメントを実施。他の担当業務とのバランスが取れるようプランナーと担当件数のコントロールを図っている。</p> <p>② 介護予防普及啓発事業の実施 感染対策をしながら、参加人数を制限したり屋外でのプログラムを企画したりするなどの工夫をしながら年36回開催した。オンラインでの開催もできるようにICT機器の準備も整備し、オンラインでの参加者も数名ではあるが定着して参加されている。</p> <p>③ 介護予防活動の支援 通所B団体は、新規立ち上げはなかったが3団体が活動を継続している。1団体は新規参加者が増えない事が課題となっており継続支援を行っている。 CSWと協働で圏域のコミュニティ紙「いこいの便り」を新規発行し年4回発行することができた。この中で地域資源の紹介や介護予防</p>

	<p>普及に関する記事を掲載している。</p> <p>④ 地域づくり推進活動（生活支援体制整備事業）</p> <p>自主グループ活動支援として、徒歩サークルの「歩こう会」の継続支援と園芸ボランティアサークルの立ち上げ支援を行った。完全に自主グループ活動へ移行はできていないが、継続できる事を目指して引き続き支援を行う。</p>
--	---

(5) 認知症総合支援事業

目 標	<p>本人、家族、地域住民への支援や啓発活動を通して、認知症を抱えた人が住み慣れた地域で安心して暮らす事ができるような「孤立しない地域」づくりを目指す</p>
計 画	<p>① 認知症連携会議への参加</p> <p>全てオンラインでの開催となったが、毎回参加し認知症施策についての協議を継続している。</p> <p>② 認知症初期集中支援チームの活用と運営</p> <p>初期集中支援チームの実働はなかったが、連携会議でケース相談をし、専門家チームからアドバイスを受けながら対応することができた。</p> <p>③ もの忘れ相談会の開催</p> <p>年間10件の相談があった。毎回相談会に同席し、その後の専門医への受診や介護保険サービスなど継続支援に繋げている。</p> <p>④ 介護者のためのおしゃべり会の開催</p> <p>「介護者のおしゃべり会」を毎月開催した。毎回の参加者は1～4人程度と参加者が伸び悩んでいる。オンライン参加もできるように環境を整備したが、オンラインでの参加実績は1人のみだった。新規参加者の呼び込みも兼ねて年3回イベントも開催した。2回は包括主催、1回は特養主催の講座「特養ってどんなところ？」を行った。</p> <p>⑤ 認知症カフェの定期開催</p> <p>「せせらぎカフェ」はコロナ禍の中休止のままとなっているため再開に向け開催方法やタイミングを検討する。</p> <p>⑥ 家族介護者教室</p> <p>6月開催の「自宅と実家の片づけ～コロナ禍でも役立つ整理のコツ～」には21人参加。3月開催の「自分らしく生きるための人生会議～日々の暮らしからもしもの時の話まで～」には会場9人+オンライン7人が参加。</p>

(6) 在宅医療・介護連携推進事業

目 標	高齢者が安心して住みなれた地域で療養生活を送れるよう、医療と介護の切れ目のない連携体制を構築していく
計 画	<p>① 窓口の周知活動・ネットワーク構築 コロナ禍のため積極的な対面方式での周知活動はできなかった。カンファレンスや訪問時などを活用して実施した。</p> <p>② 窓口での個別相談の実施 年間62件の相談に対応した。市内の医療機関、訪問診療などに関する問い合わせが多かった。他には、難病と診断された方の活用できる医療制度や障害サービスと介護保険サービスとの利用についてなど複数の制度にまたがる相談などがあつた。</p> <p>③ 地域の医療介護連携や資源に関する情報収集と分析 地域資源サイトである「ココシル狛江」の整備に向けた検索カテゴリーなどについて市と協働で検討した。</p>

令和3年度 年間相談実績集計表

①相談区分、所属

	新規	継続	計
区分	248	5,273	5,521

	自社	委託	その他	計
所属	2,854	46	2,621	5,521

②相談形態

	電話	来所	訪問	会議	文書	FAX	その他	メール	計
相談方法	3,348	300	1,111	154	160	198	185	65	5,521

③介護度

介護保険	実数	延べ人数
支援1	822	1,073
支援2	1,206	1,689
要介護1	322	431
要介護2	164	231
要介護3	78	94
要介護4	123	154
要介護5	49	67
非該当	4	4
事業対象者	273	314
未申請	505	689
申請中	442	694
不明	75	81
計	4,063	5,521

④年齢

	実数	延べ人数
64歳以下	142	249
65～69歳	118	162
70～74歳	373	510
75～79歳	505	756
80～84歳	1,109	1,542
85～89歳	1,123	1,500
90歳以上	560	749
不明	49	53
計	3,979	5,521

⑤相談者

本人	配偶者	子供	子供の配偶者	兄妹	孫	その他家族	知人	市役所
2,576	281	592	75	39	1	50	26	244
保健所	警察	消防	民生	地域住民	医療機関	ケアマネ	サービス提供	匿名
1	7	1	33	12	263	439	698	0
社協	その他	地域包括	あんしん狛江	計				
38	106	31	8	5,521				

⑥申請代行（市役所）

配食サービス	10
特養入所申請	0
日常生活用具	4
ガス安全システム	0
自立支援住宅改修(予防改修・設備改修)	3
理美容サービス	7
認知症高齢者位置情報提供サービス	9
介護用品支給 etc	42
あんしんS(緊急通報システム)	3
寝具洗濯	0
救急代理通報システム事業	3
ゴミ出しサポート事業	0
合計	81

⑦申請代行（介護保険）

介護保険(要介護・要支援)認定申請書 新規・更新・変更	333
介護(予防)サービス計画書届出書 予・居	141
住宅改修	13
福祉用具購入	0
福祉用具貸与	0
軽度者申請 福祉用具	7
介保負担限度額認定	1
高額介護	0
特別給付	0
負担限度額	0
情報提供申請書兼同意書	158
チェックリスト	5
合計	658

⑧相談内容（延べ件数・重複記載）

令和4年3月31日現在

区分		月												小計	合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合相談	地域包括のみ	26	30	30	20	40	40	59	47	47	54	42	33	468	1,029
	その他機関	38	31	39	56	49	43	42	45	64	43	27	35	512	
	その他	9	5	3	5	4	7	5	1	5	2	1	2	49	
予防ケアプラン	サービス内容	128	240	229	96	135	126	223	133	127	144	139	142	1,862	3,029
	サービス担当者	18	15	103	21	20	15	25	22	19	23	20	24	325	
	その他	84	94	111	85	62	44	59	64	57	53	52	77	842	
虐待	措置入所の実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時避難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
住宅改修	自宅訪問	1	4	10	6	4	0	0	2	0	3	3	2	35	45
	改修実施	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	3	2	10	
権利擁護	成年後見制度	6	0	5	6	1	11	10	4	4	1	0	2	50	153
	高齢者虐待	3	1	0	9	2	0	1	2	3	1	0	0	22	
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	困難事例	2	1	2	8	8	14	4	2	2	2	1	2	48	
	消費者被害	0	0	0	0	0	1	3	4	0	0	0	4	12	
	地域権利擁護	0	0	0	0	0	2	2	2	1	0	1	0	8	
	その他	2	1	0	4	1	3	1	1	0	0	0	0	13	
包括ケアマネジメント	CMからの相談	23	18	24	27	36	29	14	18	17	23	6	9	244	302
	関係機関	2	2	3	10	10	10	8	3	2	0	2	1	53	
	包括からの相談	0	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	5	
成年後見	親族申立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	市区町村申立	2	0	2	0	0	0	1	0	3	1	0	0	9	
合計		345	442	562	353	374	346	458	350	355	350	297	335	4,567	4,567

⑨予防ケアプラン＜新規及び終了者数＞

右側カッコ内は委託数の再掲

月	区分	ケアプラン作成数	新規	終了				
				非該当	介護給付へ移行	施設入所	死去	その他
4月		194 (19)	2		7			
5月		202 (21)	6		3			2
6月		195 (20)	2		4			1
7月		191 (21)	5		4	1		4
8月		189 (22)	9 (1)		2	1		2
9月		191 (22)	7		3			1 (1)
10月		199 (21)	10 (1)		5 (1)			
11月		200 (23)	9 (1)		3			1
12月		205 (24)	7 (2)		4	1		
1月		202 (23)	3		2 (1)	1		3
2月		208 (26)	5					1
3月		203 (20)	6		4			
合計		2,379 (262)	71 (5)	0 (0)	41 (2)	4 (0)	0 (0)	15 (1)

9. 居宅介護支援事業所

1	目 標	地域福祉のニーズに応え、質の高いケアマネジメントを実践し、信頼される事業所を目指す
	評 価	<p>① 毎週ミーティングで情報共有や事例検討を行い、ケアマネジメント力の相互育成に努め、担当者不在の場合も十分に対応することができる体制をとれている。</p> <p>② 虐待やサービス拒否、経済的困窮や本人や家族の精神疾患など、多問題を抱える家庭の支援困難ケースの対応については、地域包括支援センターや市役所担当者、保健所等の多職種連携のチーム体制で対応することができている。</p> <p>③ 認定調査は、新型コロナウイルス感染症予防の特例措置により調査件数が減ったこともあり、1件の受託にとどまる。</p> <p>④ ケアプラン担当件数は一人当たり40件以上を目標においたが、年度を通して平均31.7件となる。退職等に伴い人数の増減があった事が平均担当件数に影響したこと、40件以上を担当するだけの体制づくりができなかったことが要因。</p> <p>⑤ BCPの作成については、法人全体の目標として感染症、災害について検討し計画の策定に繋げることができた。</p>
2	目 標	人材育成の仕組みを整備する
	評 価	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響で、集合研修からオンライン研修が主流となる。地域包括支援センター主催の研修や東京都の研修など可能な範囲で参加した。</p> <p>② 介護支援専門員実務研修生については、8月と2月に計2人の受け入れを行った。</p> <p>③ 主任介護支援専門員の資格取得及び更新要件を満たす研修参加を目標としたが、市内で開催されていた研修自体が減少した。来年度の研修計画においては個人の経験に応じた積極的な研修参加を目標としていく。また、法人内の有資格者が活躍できる環境を整え、法人内の人材活用に注力していく。</p>
3	目 標	地域包括ケアシステムの構築に主体的に参画し、地域特有の課題や様々な社会資源の情報を活用し、安心して暮らせる地域づくりに貢献する
	評 価	<p>① オンラインによる狛江市介護支援専門員連絡会、事例検討会などICTを活用した新たな形のネットワークづくりに主体的に関与し、ZOOMやWebexといったオンラインツールの活用にも取り組んだ。</p> <p>② 主任介護支援専門員の連絡会は1回開催され参加し、オンライン事例検討会への参加、ケアプラン点検は1人が協力者として参加した。</p> <p>③ 医療と介護の連携については、MCSなどのソーシャルネットワークの活用により、訪問診療・訪問看護などの医療関係者と介護サービス事業者間でスピード感ある情報共有を行うことができている。</p> <p>④ 他事業所と共催の研修会「チームK」については1回開催した。コロナ禍におけるケアマネ事業所の対策などを他事業所と共有することが</p>

		できた。来年度に向けてはZOOM等を活用した新たな形の勉強会を企画していく。
--	--	--

令和3年度 居宅介護支援事業実績

目標値;ケアマネ常勤換算一人あたり 35~39件

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要介護1	66	62	65	193	66	67	65	198	391
要介護2	53	54	54	161	55	54	58	167	328
要介護3	22	22	26	70	26	23	23	72	142
要介護4	38	35	31	104	31	30	28	89	193
要介護5	12	9	10	31	12	13	13	38	69
計	191	182	186	559	190	187	187	564	1,123
常勤換算/人	5.6	5.8	5.8		5.6	5.6	5.6		
一人あたり件数	34.4	31.4	32.1	32.6	34.2	33.7	33.7	33.9	33.2

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要介護1	67	68	64	199	61	59	59	179	378	769
要介護2	58	59	60	177	61	61	61	183	360	688
要介護3	25	25	25	75	26	27	26	79	154	296
要介護4	30	29	28	87	26	25	26	77	164	357
要介護5	13	13	10	36	9	6	8	23	59	128
計	193	194	187	574	183	178	180	541	1,115	2,238
常勤換算/人	5.6	6.6	5.8		6.8	6.8	5.8			
一人あたり件数	34.8	29.4	32.2	24.6	26.9	26.2	31.0	28.0	30.1	31.7

3月保留5件